

データBOX・メディアツールについて 294

静止画を使いこなす

保存した画像を表示する..... <イメージビューア>299

静止画を編集する..... <画像編集>301

動画を使いこなす

動画 / i モーションを再生する ... < i モーションプレーヤー>305

動画を編集する..... <映像編集>308

ビデオを使いこなす

ワンセグを録画したビデオ・静止画を再生する <ワンセグ>309

キャラ電を使いこなす

キャラ電..... <キャラ電プレーヤー>311

マチキャラを使いこなす

マチキャラを表示する..... <マチキャラ>312

メロディを使いこなす

メロディを再生する..... <メロディプレーヤー>312

microSDカードを使いこなす

microSDカードについて 314

FOMA端末とmicroSDカードの間でデータをコピーする..... 318

FOMA端末とmicroSDカードの間でデータを移動する

..... <コンテンツ移行対応>319

FOMA端末(本体)のデータをバックアップ/復元する

..... <バックアップ/復元>320

microSDカードのデータをプレビューする

..... <microSDデータ参照>322

microSDカードの管理について 322

各種データを使いこなす

データBOX・メディアツールを管理する 325

赤外線通信を使いこなす

赤外線通信を利用する <赤外線通信>328

データを1件ずつ送受信する 331

データを全件送受信する 331

i アプリと連携して赤外線通信を行う 332

赤外線リモコン機能を利用する <赤外線リモコン>332

i C通信を使いこなす

i C通信..... 333

データを1件ずつ送受信する 334

データを全件送受信する 334

ボイスレコーダーを使いこなす

ボイスレコーダーとして使う <ボイスレコーダー>334

マンガ・ブックリーダーを使いこなす

電子書籍 / 電子辞書 / 電子コミックを表示する

..... <マンガ・ブックリーダー>335

電子書籍 / 電子辞書 / 電子コミック内の情報を利用する 338

データBOX・メディアツールについて

データの種類によって、それぞれのフォルダに保存されます。

- データの種類を選ぶと、前回データ参照を終了したときの参照先 (FOMA端末(本体)またはmicroSDカード)が表示されます。

データBOXについて

■ マイピクチャ (P.299)

- FOMA端末で撮影した静止画やダウンロードした画像が保存されます。

マイピクチャ(本体)	
→microSD	[マイピクチャ(microSD)]に切り替え
カメラ	FOMA端末で撮影した静止画用フォルダ
iモード	サイトやiモードメール、メッセージR/Fなどで入手した画像用フォルダ
デコメピクチャ	デコメール®作成時に利用できる画像用フォルダ
デコメ絵文字※1	デコメール®作成時に利用できる絵文字用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されている画像用フォルダ
外部取得データ	バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、iC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)、IrSS™通信を利用して入手した画像用フォルダ
アイテム	サイトなどから入手したフレームやスタンプ用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
iモードで探す	iモードに接続

マイピクチャ(microSD)	
→本体	[マイピクチャ(本体)]に切り替え
カメラフォルダxxx※2	FOMA端末で撮影した静止画やDCF準拠のJPEG画像、GIF画像(GIFアニメーションを除く)用のフォルダ
(カメラフォルダ用ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
その他静止画	FOMA端末(本体)からコピーしたGIFアニメーションやDCF準拠していないJPEG画像、Flash画像用フォルダ
(その他静止画用ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
デコメ絵文字	デコメール®作成時に利用できる絵文字用フォルダ
(デコメ®絵文字用ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できない画像用フォルダ

※1 デコメ®絵文字は[デコメ絵文字]フォルダへ直接保存されます。また、デコメ®絵文字以外のデータは保存できません。

※2 撮影した静止画を保存したり、FOMA端末(本体)から静止画をコピーすると[カメラフォルダ100]が自動的に作成され、ファイル数が400件になると、[カメラフォルダxxx] (「xxx」は100~999の3桁の半角数字)という名前のフォルダが自動的に作成されます。

■ ミュージック (P.236)

- 着うたフル[®]やWMAファイルが保存されます。

ミュージック	
プレイリスト	FOMA端末やパソコンなどで作成したプレイリスト用フォルダ
i モード	サイトなどで入手した着うたフル [®] 用フォルダ
WMA	パソコンから転送したWMAファイル用フォルダ
i モードで探す	i モードに接続

■ Music&Videoチャンネル (P.231)

- 取得したMusic&Videoチャンネルの番組が保存されます (P.230)。

■ i モーション (P.305)

- FOMA端末で撮影した動画や録音した音声、取得した i モーションが保存されます。

i モーション(本体)	
→microSD	[i モーション(microSD)]に切り替え
カメラ	FOMA端末で撮影した動画用フォルダ
i モード	サイトや i モードメール、メッセージR/Fなどで入手した i モーション用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されている i モーション用フォルダ
外部取得データ	microSDカード、赤外線通信、i C通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を利用して入手した i モーション用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
i モードで探す	i モードに接続
i モーション(microSD)	
→本体	[i モーション(本体)]に切り替え
カメラフォルダ	FOMA端末で撮影した動画用フォルダ

i モーション(microSD)	
(カメラフォルダ用ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
マルチメディア [※]	音声のみの i モーションやボイスレコーダーで記録したデータ、およびパソコンから転送したデータ用フォルダ
(マルチメディア用ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できない i モーション用フォルダ

※ [マルチメディア]フォルダにはデータを400件まで保存できます。ファイル形式はMP4です。また、パソコンからは、MP4、ASF、3GPP形式のファイルが転送できます。ファイル名は、MMF0001～MMF9999です。FOMA端末では、400件まで参照することができませんが、次の場合には、データが表示されないことがあります。

- 再生できないデータがあるとき
- 401件以上データが存在するとき
- ファイル名が「MMFxxxx」(「xxxx」は数字)でないとき

■ ワンセグ (P.309)

- FOMA端末で録画したビデオや静止画が保存されます。

ワンセグ(本体)	
→microSD	[ワンセグ(microSD)]に切り替え
イメージ	ワンセグで録画した静止画用フォルダ
ビデオ	ワンセグで録画したビデオ用フォルダ
ワンセグ(microSD)	
→本体	[ワンセグ(本体)]に切り替え
ビデオ	ワンセグで録画したビデオ用フォルダ

■ メロディ (P.312)

- メロディが保存されます。

メロディ (本体)	
→microSD	[メロディ (microSD)] に切り替え
i モード	サイトや i モードメール、メッセージR/Fなどで入手したメロディ用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているメロディ用フォルダ
外部取得データ	バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、i C通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を利用して入手したメロディ用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
i モードで探す	i モードに接続
メロディ (microSD)	
→本体	[メロディ (本体)] に切り替え
メロディ	あらかじめ用意されているメロディ用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できないメロディ用フォルダ

■ きせかえツール (P.95)

- きせかえツールが保存されます。

きせかえツール (本体)	
→microSD	[きせかえツール (microSD)] に切り替え
i モード	サイトなどで入手したきせかえツール用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているきせかえツール用フォルダ

きせかえツール (本体)	
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
i モードで探す	i モードに接続
きせかえツール (microSD)	
→本体	[きせかえツール (本体)] に切り替え
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できないきせかえツール用フォルダ

■ マチキャラ (P.312)

- マチキャラが保存されます。

マチキャラ	
i モード	サイトなどで入手したマチキャラ用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているマチキャラ用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
i モードで探す	i モードに接続

■ キャラ電 (P.311)

- キャラ電が保存されます。

キャラ電	
i モード	サイトなどで入手したキャラ電用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているキャラ電用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ

メディアツールについて

■ボイスレコーダー (P.334)

- 録音した音声は、[音声のみ] (映像なし) の i モーションとして、microSDカードの[マルチメディア]フォルダに保存されます。

■マンガ・ブックリーダー (P.335)

- 電子書籍など(電子書籍/電子辞書/電子コミック)を表示できます。

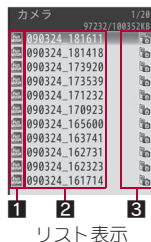
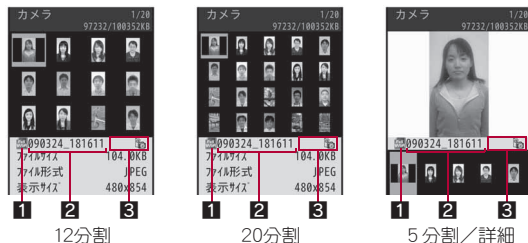
マンガ・ブック (本体)	
→microSD	[マンガ・ブック (microSD)] に切り替え
マンガ・ブックリーダー	サイトなどで入手した電子書籍などのフォルダ
i モード	サイトなどで入手した閲覧制限が設定されている電子書籍などのフォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されている電子書籍などのフォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
マンガ・ブック (microSD)	
→本体	[マンガ・ブック (本体)] に切り替え
マンガ・ブックリーダー	サイトなどで入手したり、パソコンなどから保存した電子書籍などのフォルダ
マンガ	サイトなどで入手した、閲覧制限が設定されている電子書籍などのフォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ

データ一覧画面の見かた

フォルダを選ぶとデータ一覧画面が表示されます。データ一覧画面の表示方法は、次の4種類から選ぶことができます。

- 表示方法の変更についてはP.299

例: [カメラ]フォルダのデータ一覧画面



- 1 ファイル種別アイコン
- 2 タイトル名
- 3 詳細情報マーク

- タイトル表示は、全角8文字(半角16文字)までです(文字サイズの設定や一覧画面の表示方法により、表示される文字数は異なる場合があります)。
- i モーションを12分割、20分割で表示すると、画像の代わりに次のように表示されることがあります。
 - [2]が表示
 - ・ 音声のみのデータ
 - ・ 画像サイズが非対応のデータ
 - ・ 画像ファイル形式が非対応のデータ

- []が表示
 - ・テキストのみのデータ
 - ・画像が壊れていたり表示できないデータ
 - ・[移行可能コンテンツ]フォルダ内で、FOMAカードセキュリティ機能が設定されたデータ
- []が表示
 - ・ダウンロードの途中で保存したデータ

アイコンの種類とマークの説明

■ ファイル種別アイコン

静止画の種類

JPEG					
5 M: 1920×2560	3 M: 1536×2048	フルHD: 1080×1920	UXGA: 1200×1600	1.2M: 960×1280	待受: 480×854

JPEG					
VGA: 480×640	QVGA: 240×320	ワンセグ: 320×180	QCIF: 176×144	アイコン: 152×152	76×76

JPEG		GIF画像 GIFアニメーション	Flash画像
パノラマ: 1280×320	その他		

i モーションの種類

MP4 (Mobile MP4)		ASF
再生制限なし	再生制限あり	

メロディの種類

SMF	MFi	
	3D情報なし	3D情報あり

FOMAカードセキュリティ機能が設定されたファイル

FOMAカード動作制限あり

メロディの種類について

- MFi(3D情報あり)を[移行可能コンテンツ]フォルダに保存したときは、MFi(3D情報なし)が表示されますが、3D情報は保持していません。

■ 詳細情報マーク

	メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているファイル
	フレーム画像、またはスタンプ画像
	i モードなどで取得したファイル※
	バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、i C通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02、IrSS™通信を利用して取得したファイル※
	カメラ撮影したファイル
	テレビ電話中に撮影した静止画メモ
	電子書籍などで保存した静止画
	位置情報が付加されている静止画
	ワンセグで録画した静止画

※ フレーム画像、スタンプ画像は除く



表示方法を変更する

■ データ一覧画面の表示方法を変更する<表示切替>

例: マイピクチャのとき

1 データ一覧画面で▶[静止画設定]▶[表示切替]

2 表示方法を選ぶ▶

- リスト表示中のページ切替:
- 5分割/詳細表示中のページ切替:

- [5分割/詳細]はマイピクチャと、ワンセグの[イメージ]フォルダでのみ設定できます。

■ 全画面モードで表示する

1 マイピクチャ/i モーションのデータ一覧画面で画像を選ぶ▶

イメージビューア

保存した画像を表示する

データBOXのマイピクチャに保存された画像を表示します。

1 カスタムメニューで[Data box]▶[マイピクチャ]

2 画像を選ぶ▶






画像表示画面

- 画像の保存件数が多くなると画像表示が遅くなるときがあります。

- サイトなどからダウンロードしたGIFアニメーションやFlash画像は、見えかたが異なるときがあります。

■ 画像表示画面のボタン操作

縮小/等倍/拡大/全画面モード切替	
再生/停止 (Flash画像)	
次の画像を表示	
前の画像を表示	
左90度回転 (JPEG画像)	
全画面モード切替 (JPEG画像以外)	
ライトアップ	 (1秒以上)
付加された位置情報から地図を見る	 MAP






- GIFアニメーションやFlash画像、フレーム画像、スタンプ画像は、縮小/等倍/拡大の切り替えができません。
- Flash画像再生中は、全画面モード切替できません。停止してから操作してください。

■ 画像表示画面のサブメニュー操作

[リトライ] (Flash画像のみ)











- 再生をやり直します。

[データ編集]

- ▶ [画像編集]  P.301
- ▶ [プチエステ]  P.304
- ▶ [タイトル編集]  P.326
- ▶ [ファイル名編集]  P.326
- ▶ [ファイル制限] ▶ 設定を選ぶ▶
- 静止画のFOMA端末外への出力を制限します。

[1 件削除]  P.327

[画面設定]  P.301

[ズーム] (Flash画像以外)	
● ズームアップ: 	
● ズームダウン: 	
● 表示位置の変更: 	
● ズームの終了: 	
[情報表示]	 P.327
[移動/コピー]	
▶ [1件移動]	 P.327
▶ [microSDへ1件移動]	 P.320
▶ [microSDへ1件コピー]	 P.318
[データ送信]	
▶ [赤外線送信]	 P.331
▶ [iC送信]	 P.334
[バックライト点灯時間] (Flash画像のみ)	 P.300
[お預かりセンターに保存] (Flash画像以外)	 P.115
[静止画設定] (Flash画像以外)	
▶ [バックライト点灯時間]	 P.300
▶ [音量設定]	 P.300
▶ [全画面モード]	
▶ [ワイドモード]	
▶ [ライトアップ]	
[位置情報] (Flash画像以外)	 P.292

- Flash画像再生中は操作できません。停止してから操作してください。

ファイル制限について

- 撮影または編集して、直接保存したデータにのみ設定できます。

ズームについて

- [プリインストール]フォルダ内の画像やGIF画像、GIFアニメーション、Flash画像はズームできません。

全画面モード、ワイドモードについて

- 全画面モードはディスプレイ内に納まるサイズ、ワイドモードは余白が付かないサイズです。

再生時の照明点灯時間を設定する<バックライト点灯時間>

Flash画像やGIFアニメーション再生中のバックライトの点灯時間を設定できます。

1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [マイピクチャ] ▶

▶ [バックライト点灯時間]

- 画像一覧画面では:  ▶ [静止画設定] ▶ [バックライト点灯時間]

2 設定を選ぶ ▶

Flash画像再生時の音量を調節する<音量設定>

1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [マイピクチャ]

2 フォルダを選ぶ ▶ ▶ ▶ [静止画設定] ▶ [音量設定]

3 で音量を調節 ▶



スライドショーを見る<スライドショー>

指定したフォルダ内の画像を連続して表示できます。

1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [マイピクチャ]

2 フォルダを選ぶ ▶ ▶ [スライドショー]

3 [スライドショー開始]

- 再生速度の設定: [再生間隔] ▶ 速度を選ぶ ▶ 
- 表示効果の設定: [効果設定] ▶ 効果を選ぶ ▶ 

静止画を添付してiモードメールを送信する

- ファイルの添付についてはP.128

1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [マイピクチャ]

2 静止画を選ぶ ▶ ㊟

3 メールを作成・送信

画像を待受画面などに設定する<画面設定>

1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [マイピクチャ]

2 静止画を選ぶ ▶ ㊟ ▶ [画面設定]

- 画像表示画面やFlash画像の停止中にも、同様の操作で画面設定できます。

3 画面設定の種類を選ぶ ▶ ㊟

- 待受画面に設定するとき:[待受画面設定] ▶ [はい] ▶ 表示サイズを選ぶ ▶ ㊟
- 「待受:480×854」サイズの画像を待受画面に設定するとき、表示サイズ選択画面は表示されません。

- フレームやスタンプ、ワンセグで録画した静止画は画面設定できません。
- Flash画像は、待受画面、発信画面、メール送受信画面に設定できます。
- 一部のJPEG画像とGIFアニメーション、GIF画像は、お知らせウィンドウアニメに設定できません。

静止画を高速赤外線通信で送信する(lrSS™機能)

マイピクチャから静止画(JPEG画像)を選択して、lrSS™機能対応機種に送信できます。

1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [マイピクチャ]

2 静止画を選ぶ ▶ ㊟

- 受信側のFOMA端末を受信待ち状態にします。

3 [はい]

- 通信の中止:㊟

- lrSS™機能とは、lrSimple™ 1.0規格準拠の片方向通信機能(Home Appliance Profile)です。
- lrSS™通信は、片方向通信のため受信側からの応答を確認せずに送信します。受信側が受け取れないときでも送信側は正常に終了します。

画像編集

静止画を編集する

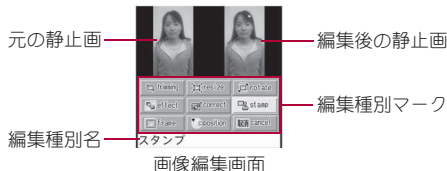
画像編集では、編集前と編集後の静止画を見比べながら、連続して編集できます。

- 「480×854」より大きいサイズの静止画や「152×152」より小さいサイズの静止画(「128×96」を除く)は、画像切り出し・サイズ変更・画像回転以外の編集はできません。また、「64×64」より小さいサイズの静止画は、編集できません。他にも、編集前の静止画のサイズによっては、編集できないときがあります。
- 画像エフェクトや画像補正、プチエステなどは、静止画によって効果に差があります。
- FOMA端末外から取得した静止画は編集できないときがあります。
- 画像編集を行うと画質が劣化したり、データの容量が増減するときがあります。
- Flash画像やGIFアニメーションは編集できません。
- 人物の顔などを編集した静止画は、人格権および肖像権を尊重し、中傷にならないようご注意ください。
- 編集した静止画は圧縮して保存し直されるため、編集中の静止画とは異なって見えることがあります。

1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [マイピクチャ]

2 静止画を選ぶ▶Ⓞ▶[データ編集]▶[画像編集]

- 編集後の静止画を1画面で表示:Ⓞ



■ 編集種別マークの見かた

編集種別マークを選ぶと、直接編集メニューを呼び出すことができます。

trimming	resize	rotate
画像切り出し (🔗P.302)	サイズ変更 (🔗P.302)	画像回転 (🔗P.303)
effect	correct	stamp
エフェクト (🔗P.303)	画像補正 (🔗P.303)	スタンプ (🔗P.303)
frame	position	cancel
フレーム (🔗P.304)	顔検出位置修正 (🔗P.304)	元に戻す (🔗P.302)

- 編集種別マークは機能や画面によって異なります。
- 編集種別の選択方法には、次の3通りの方法があります。
 - 画像編集画面で🔗で編集種別マークを選ぶ▶Ⓞ
 - 画像編集画面でダイヤルボタン(①~⑨)
 - ・編集種別マークの並びは、ダイヤルボタンの並びに対応しています。
 - 画像編集画面でⓄ▶編集種別を選ぶ▶Ⓞ

■ 直前の操作を取り消す<元に戻す>

1 画像編集画面で[cancel]▶[はい]

- 取り消しは1回のみ可能です。続けて取り消し操作を行うと、未編集状態に戻ります。

■ 編集した静止画を保存する

1 画像編集画面でⓄ▶[はい]

- 保存後に続けて編集するとき:画像編集画面でⓄ

2 [OK]

- タイトルの編集:[タイトル編集]▶タイトルを編集▶Ⓞ
 - ・全角25文字(半角50文字)まで入力できます。
- 保存先の変更:[フォルダ変更]▶フォルダを選ぶ▶Ⓞ
- 保存してメールに添付:[メール作成]▶メールを作成・送信

■ 静止画のサイズを修正する<画像切り出し>

1 画像編集画面で[trimming]

2 サイズを選ぶ▶Ⓞ

3 🔄で切り出し部分を指定▶Ⓞ

- 画面の拡大/縮小:Ⓞ/🔄
 - ・[アイコン(9分割)]のときは拡大・縮小できません。
- 静止画の保存は🔗P.302

- 現在の横サイズを変換後の横サイズに拡大または縮小します。上下が足りないときは、静止画を中央に配置して、上下に余白が付きます。

■ 静止画のサイズを変更する<サイズ変更>

1 画像編集画面で[resize]

2 サイズを選ぶ▶Ⓞ

- 静止画の保存は🔗P.302

- サイズ変更しても縦横比は変更されません。縦横比が異なる画像をアイコンやテレビ電話代替画像に使用する場合は画像切り出しを利用してください。
- 現在の横(縦)サイズを変換後の横(縦)サイズに拡大または縮小します。「アイコン: 152×152」にサイズ変更する場合、上下(左右)が足りないときは、静止画を中央に配置して上下(左右)に余白が付きます。
- [デコメール用]にサイズ変更する場合、画像が縮小される旨の確認メッセージが表示されたときは、[はい]を選択するとサイズ変更できます。

静止画を回転する<画像回転>

1 画像編集画面で[rotate]

2 種類を選ぶ▶◎

- 静止画の保存は☞P.302

- 画像サイズが「960×1280」より大きいときは、画像が縮小される旨の確認メッセージが表示されます。[はい]を選択すると回転できます。
- 縦と横のサイズが異なる静止画を90度回転させると、縦横比が変わります。
- 静止画によっては、保存先フォルダを指定できないときがあります。

いろいろな効果をかける<画像エフェクト>

静止画の色合いやタッチを変えることができます。

1 画像編集画面で[effect]▶[画像エフェクト]

2 種類を選ぶ▶◎

- 静止画の保存は☞P.302

顔を装飾する<フェイスエフェクト>

人物の顔に喜怒哀楽などの表情効果を付けることができます。

1 画像編集画面で[effect]▶[フェイスエフェクト]

2 種類を選ぶ▶◎

- 静止画の保存は☞P.302

- 静止画内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないことがあります。フェイスエフェクトには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
- 顔の輪郭情報が正しく抽出できないときは☞P.304

静止画を補正する<画像補正>

静止画にシャープネスやソフトなどの補正をかけることができます。

1 画像編集画面で[correct]

2 種類を選ぶ▶◎

- 静止画の保存は☞P.302

画像スタンプを貼り付ける<画像スタンプ>

1 画像編集画面で[stamp]▶[画像スタンプ]

2 スタンプを選ぶ▶◎

3 ◎で貼り付け位置を調整▶◎▶◎

- 静止画の保存は☞P.302

顔スタンプを貼り付ける<フェイススタンプ>

1 画像編集画面で[stamp]▶[フェイススタンプ]

2 種類を選ぶ▶◎

- 静止画の保存は☞P.302

- 静止画内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないことがあります。フェイススタンプには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
- 顔の輪郭情報が正しく抽出できないときはP.304

文字スタンプを貼り付ける<文字スタンプ>

1 画像編集画面で[stamp] ▶ [文字スタンプ]

2 種類を選ぶ ▶ Ⓞ

- [フリーワード]のとき:文字を入力 ▶ Ⓞ
 - ・ 全角11文字(半角22文字)まで入力できます。文字が画面の幅を超えるときは、はみ出した部分が削除されます。

3 Ⓞで貼り付け位置を調整

- 文字サイズの変更:Ⓞ/Ⓞ
- 文字色の変更:Ⓞ ▶ 文字色を選ぶ ▶ Ⓞ

4 Ⓞ

- 静止画の保存はP.302

フレームを重ねる<フレーム>

- FOMA端末にはあらかじめ「待受:480×854」、「CIF:352×288」、「QCIF:176×144」用のフレームが登録されています。

1 画像編集画面で[frame]

2 種類を選ぶ ▶ Ⓞ

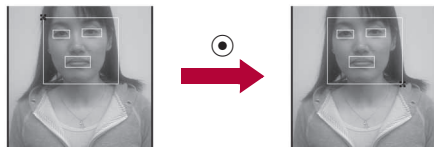
- 静止画の保存はP.302

各部の輪郭情報を手動で設定する<顔検出位置修正>

フェイスエフェクトやフェイススタンプ、プチエステで利用する顔の各部の輪郭情報を、手動で設定できます。

1 画像編集画面で[position]

2 顔の輪郭を指定(赤枠) ▶ Ⓞ



1. Ⓞで輪郭の左上に[+]カーソルを合わせる。

2. Ⓞで輪郭の右下に[+]カーソルを合わせる。

3 画面上の右の目の輪郭を指定(青枠) ▶ Ⓞ

- 輪郭の指定:操作2と同じ

4 画面上の左の目の輪郭を指定(緑枠) ▶ Ⓞ

- 輪郭の指定:操作2と同じ

5 口の輪郭を指定(黄枠) ▶ Ⓞ

- 輪郭の指定:操作2と同じ
- 静止画の保存はP.302

人物の顔をメイクアップする<プチエステ>

人物の顔の静止画に、美白やナチュラルのメイクアップ効果をかけることができます。

1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [マイピクチャ]

2 静止画を選ぶ ▶ Ⓞ ▶ [データ編集] ▶ [プチエステ]

3 効果を選ぶ ▶ Ⓞ

- 編集種別の選択方法についてはP.302「編集種別マークの見かた」
- 静止画の保存はP.302

- 顔の輪郭情報が正しく抽出できないときはP.304

動画 / i モーションを再生する

データBOXの i モーションに保存された i モーションを再生します。

1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [i モーション]

2 i モーションを選ぶ ▶ ●

- 再生可能な i モーションの種類は次のとおりです。

ファイル形式		符号化方式
MP4 (拡張子:「.mp4」 「.3gp」「.m4a」)	映像	MPEG-4、H.263、H.264
	音声	AMR、AAC、HE-AAC、 Enhanced aacPlus
ASF (拡張子:「.asf」)	映像	MPEG-4
	音声	AMR、G.726

- 符号化方式がH.263の i モーションは、「QCIF: 176×144」、
「sQCIF: 128×96」が再生可能です。
- 符号化方式がH.264の i モーションは、Baseline Profileのみ再生可
能です。
- 「VGA: 640×480」より大きいサイズの i モーションは再生でき
ません。
- i モーションにテロップが付いていても、テロップは表示されま
せん。
- ダウンロード途中で保存した i モーションを選ぶと、残りのデー
タをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。
[はい]を選ぶとダウンロードできます。
- 音声のみの i モーションを再生すると、画面には固定のアニメー
ションが表示されます。
- 再生中に着信やアラーム動作があると、再生は中止され、i モー
ションの停止画面に戻ります。
- 再生中にFOMA端末を閉じて、再生は継続されます。

■ i モーション再生画面のボタン操作

一時停止 / 再生	●
停止	⊕
音量調節 (音量 0 ~ 10)	🔊※1
早送り	⏩ (1秒以上)
早戻し	⏪ (1秒以上)
次の i モーションを再生	⏴※2
前の i モーションを再生	⏵※2
コマ送り (一時停止中)	⏴
コマ戻し (一時停止中)	⏵
ボタンに割り振られた再生 開始位置にジャンプ※3	①: 先頭 ②~⑨: 総再生時間の約1/9ずつ先の 位置
ライトアップ	🔦 (1秒以上)
全画面モード切替	📺

※1 ボタンを押し続けると、連続して音量を調節できます。

※2 i モーション停止中も操作できます。

※3 録画時間が短いときは、ジャンプしないことがあります。

- 全画面モード中は●と⊕の操作が入り替わります。FOMA端末を横
向きに持って操作してください。

- データに制限があるときなど、操作ができなかったり、再生画面の
総再生時間が正しく表示されないことがあります。

■ 再生状態のマークの見かた



再生状態のマーク — i モーション再生画面

再生状態	音量	
	リピート再生	
	Dolby設定(イヤホン)	
		オリジナルの設定項目を選んだとき
	画像サイズ	
	バッファリング中表示 (標準タイプ・ストリーミングタイプ)	
	ダウンロード未完了	
再生種別	音声あり	
	映像あり	
	テロップあり	
	音声再生不可	
	映像再生不可	

■ i モーション再生画面のサブメニュー操作

[データ編集]

- ▶ [映像編集] P.308
- ▶ [タイトル編集] P.326
- ▶ [ファイル名編集] P.326
- ▶ [ファイル制限] ▶ 設定を選ぶ ▶ ●
 - 動画のFOMA端末外への出力を制限します。

[1件削除] P.327

[Dolby設定(イヤホン)] ▶ 設定を選ぶ ▶ ●

- [オリジナル]を選択したときは、項目設定して●

[音・映像設定] P.307

[情報表示] P.327

[移動/コピー]

- ▶ [1件移動] P.327
- ▶ [microSDへ1件移動] P.320
- ▶ [microSDへ1件コピー] P.318

[チャプター一覧] ▶ チャプターを選ぶ ▶ ●

- チャプターを選択して再生します。

[i モーション設定]

- ▶ [リピート再生]
 - 通常再生に戻す:同じ操作
- ▶ [表示サイズ切替] ▶ 設定を選ぶ ▶ ●
- ▶ [ライトアップ]
- ▶ [バックライト点灯時間] P.308
- ▶ [レジューム再生設定] P.308
- ▶ [送り幅指定] ▶ 送り幅を選ぶ ▶ ●
- ▶ [全画面モード切替]
- ▶ [起動時画面モード設定] ▶ 設定を選ぶ ▶ ●

ファイル制限について

- 撮影または編集して、直接保存したデータにのみ設定できます。

Dolby設定(イヤホン)について

- Dolby設定(イヤホン)は、ステレオイヤホンセット(別売)使用時に有効です。

リピート再生について

- 再生回数に制限のあるデータは、リピート再生できません。

表示サイズ切替について

- 表示されるサイズが「480未満×392未満」のときに、表示サイズを[拡大]に切り替えることができます。

送り幅指定について

- 音声のみの i モーションなど、[細かい]に設定しても無効となり、[大まか(高速)]でコマ送りされる i モーションがあります。

全画面モード切替について

- サイズによっては、全画面モードでも画面全体に表示されません。

再生時の音量を調節する<音量設定>

1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [i モーション] ▶

Ⓜ ▶ [i モーション設定] ▶ [音量設定]

- 映像一覧画面からも同様に操作できます。

2 ①で音量を調節 ▶ ②

動画 / i モーションを連続して再生する<連続再生>

指定したフォルダ内の i モーションを連続して再生できます。

1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [i モーション]

2 フォルダを選ぶ ▶ ③ ▶ [連続再生]

- 映像一覧画面からも同様に操作できます。

3 [連続再生開始]

- くり返し再生の設定:[リピート再生設定] ▶ [する]
- 各 i モーションの最長再生時間を設定:[ダイジェスト再生設定] ▶ 再生時間を選ぶ ▶ ④
- 連続再生を ⑤ で停止した場合、⑥ を押すと、停止した i モーションの先頭から連続再生が再開されます。

- 再生回数に制限のある i モーションや、再生期間の制限を超えた i モーションは再生されません。確認メッセージが表示され、次の i モーションが再生されます。
- ダウンロードの途中で保存した i モーションは再生されません。次の i モーションが再生されます。

動画 / i モーションを添付して i モードメールを送信する<i モーションメール>

- ファイルの添付については P.128

1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [i モーション]

2 i モーションを選ぶ ▶ ⑦

- 500Kバイトを超える i モーションのとき:ファイルサイズを選ぶ ▶ ⑧
 - 先頭から約500Kバイトを切り出す:[メール用(短)]
 - 先頭から約2Mバイトを切り出す:[メール用(長)]

3 メールを作成・送信

動画 / i モーションを待受画面などに設定する<音・映像設定>

1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [i モーション]

2 i モーションを選ぶ ▶ ⑨ ▶ [音・映像設定]

3 項目を選ぶ ▶ ⑩

- 待受画面に設定するとき:[待受画面] ▶ [はい] ▶ 表示サイズを選ぶ ▶ ⑪
 - 画像サイズが「QCIF: 176×144」、「sQCIF: 128×96」以外のときは、拡大表示できません。

- microSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内の i モーションは待受画面や着信音などに直接設定できますが、設定された i モーションは、FOMA端末(本体)のデータBOXの i モーションの[i モード]フォルダに移動されます。
- 音声のみの i モーションやASF形式の i モーションなど、待受画面に設定できない i モーションがあります。

再生時の照明を設定する<バックライト点灯時間>

- 1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [i モーション]
- 2 ④ ▶ [i モーション設定] ▶ [バックライト点灯時間]
 - 映像一覧画面からも同様に操作できます。
- 3 設定を選ぶ ▶ ①

レジューム再生を設定する<レジューム再生設定>

- 1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [i モーション]
- 2 フォルダを選ぶ ▶ ① ▶ ④ ▶ [i モーション設定] ▶ [レジューム再生設定]
- 3 設定を選ぶ ▶ ①

- 本体に保存された i モーションには設定できません。
- [マルチメディア]フォルダ、[移行可能コンテンツ]フォルダの i モーションには設定できません。
- レジューム再生を [ON] に設定すると、microSDカードに保存された i モーションの再生が着信などで中断されても、中断されたところから再生を再開することができます。

映像編集

動画を編集する

撮影した動画を編集できます。

- 1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [i モーション]
- 2 動画を選ぶ ▶ ④ ▶ [データ編集] ▶ [映像編集]
 - 早送り/早戻し: ③ (1秒以上) / ② (1秒以上)
 - コマ送り/コマ戻し: ①
 - ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ: ① ~ ⑨
 - 編集した動画を再生: ④

- 保存せずに終了: ④ ▶ [終了] ▶ [はい]



編集種別マーク

映像編集画面

- SH-02A以外で撮影した動画は、編集できないことがあります。

■ 編集種別マークの見かた

編集種別マークを選ぶと、直接編集メニューを呼び出すことができます。

	静止画キャプチャ (P.309)
	映像カッター (P.309)
	情報表示
	保存 (P.308)
	終了

- 編集種別の選択方法には、次の2通りの方法があります。
 - 映像編集画面で ④ で編集種別マークを選ぶ ▶ ①
 - 映像編集画面で ④ ▶ 編集種別を選ぶ ▶ ①


■ 編集した動画を保存する

1 映像編集画面で [Save]

- 編集した動画が500Kバイトを超えるとき: ファイルサイズを選ぶ ▶ ①
 - 先頭から約500Kバイトを切り出す: [メール用(短)]
 - 先頭から約2Mバイトを切り出す: [メール用(長)]
 - そのまま保存するとき: [何もしない]

2 [OK]

- タイトルの編集: [タイトル編集] ▶ タイトルを編集 ▶ ①
 - 全角18文字(半角36文字)まで入力できます。

- 保存先の変更:[フォルダ変更] ▶ フォルダを選ぶ ▶ 
- 保存してメールに添付:[メール作成] ▶ メールを作成・送信

- microSDカード内の動画のときは、フォルダを変更できないことがあります。

動画を静止画として保存する<静止画キャプチャ>

動画の一場面を、静止画として保存できます。

- 保存した静止画はFOMA端末で撮影した静止画と同様に扱うことができます。

1 映像編集画面で保存したい場面を表示 ▶

- 静止画の保存は  P.302「編集した静止画を保存する」の操作 2






動画を切り取る<映像カッター>

動画の一部を切り取り、新しい動画として保存します。

メール用(短)	指定した位置から約500Kバイトまでを自動的に切り取ります。
メール用(長)	指定した位置から約2Mバイトまでを自動的に切り取ります。
部分切り出し	始点と終点を指定して切り取ります。
前部分消去	指定した始点からファイルの最後までを切り取ります。
後部分消去	ファイルの最初から指定した終点までを切り取ります。

1 映像編集画面で

2 切り取り方法を選ぶ

- ◆ [メール用(短)]/[メール用(長)]/[前部分消去] ▶ 始点を選ぶ ▶  ▶ [確認]
- ◆ [部分切り出し] ▶ 始点を選ぶ ▶  ▶ 終点を選ぶ ▶  ▶ [確認]
- ◆ [後部分消去] ▶ 終点を選ぶ ▶  ▶ [確認]
- 動画の保存は  P.308

- 約3秒未満の動画は切り取りできません。

- FOMA端末(本体)に保存されている約2Mバイトを超える動画は、部分切り出し、前部分消去、後部分消去できません。
- 約500Kバイト以下の動画はメール用(短)、メール用(長)に切り出すできません。
- 動画を保存するまでは連続して切り取りはできません。
- 送り幅指定を[細かい]に設定している場合、[大まか(高速)]に設定している場合よりも切り取りに時間がかかることがあります。

コマ送りの送り幅を設定する<送り幅指定>

1 映像編集画面で ▶ [送り幅指定]




2 送り幅を選ぶ ▶

- 音声のみの i モーションなど、[細かい]に設定しても無効となり、[大まか(高速)]でコマ送りされる i モーションがあります。
- 次の場合は、コマ送り幅が[大まか(高速)]になります。
 - 映像編集画面で、画像サイズが「WQVGA:400×240」、「hVGA:240×176」のとき
 - 編集中のデータサイズが500Kバイトを超えるとき

ワンセグ

ワンセグを録画したビデオ・静止画を再生する

データBOXのワンセグに保存されたビデオや静止画を再生できます。ここでは、ビデオプレーヤーでのビデオの再生について説明します。

- 静止画表示中の操作については  P.299
- マルチウィンドウでビデオを見ながら他の機能を利用できます ( P.215)。同時に使用可能な機能はワンセグ視聴中と異なります ( P.426)。
- ビデオ再生中に着信やアラームが動作すると、マルチウィンドウになり、各機能が動作します。着信のときは、ビデオが一時停止になります。

1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [ワンセグ]

2 [ビデオ]フォルダ ▶ ビデオを選ぶ ▶



- 静止画を表示するとき:[イメージ]フォルダ ▶ 静止画を選ぶ ▶ ●



ビデオ再生画面

- 前回再生時に途中で終了したビデオは、停止した位置から再生されます。
- ビデオ再生中は、テレビリンク一覧画面を表示できません。
- 他の機器などで編集(分割)されたビデオを再生すると、映像や音声途切れることがあります。

ビデオ再生中のデータ放送表示について

- ビデオ再生時は、再生中のビデオを録画した放送局のデータ放送が表示されます。再生を終了すると、データ放送の表示は消えます。ただし、再生終了時にデータ放送サイトを表示していた場合は、データ放送サイトの閲覧を継続します。
- ビデオ一時停止中やビデオ再生の速度が通常もしくは[▶▶]のとき以外は、データ放送が表示されません。
- 早送り([▶▶])のとき(以外)や早戻し、再生開始位置のジャンプをすると、通常再生に戻ったときにデータ放送はトップページが表示されます。

■ ビデオ再生画面のボタン操作

早送り (▶▶x1、▶▶x2、▶▶x3、▶▶x4) ※1※2	⏩ ● [▶▶]: 通常の約1.3倍で再生 ● [▶▶x2]で早送り: ⏩ (1秒以上)
早戻し (◀◀x1、◀◀x2、◀◀x3、◀◀x4)※1※2	⏪ ● [◀◀x2]で早戻し: ⏪ (1秒以上)

一時停止/再生	⏸
停止	⏹ ● 先頭から再生: ⏮
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ※3	①: 先頭 ②~⑨: 総再生時間の約1/9ずつ先の位置
約30秒先の位置にスキップ	⏭
約10秒前の位置にバック	⏮
音量調節(音量0~10)※2※4	🔊
ミュート/解除	🔇
字幕設定ON/OFF	🗨 (1秒以上)
映像/データ放送モードの切替	📺
縦/横表示の切替	🔄
ビデオプレーヤー終了	⏹ / 🔄 ▶ [はい]

- ※1 ボタンを押すたびに、早送り/早戻しの速度が上がります。
- ※2 横表示中は⏪と⏩の操作が入れ替わります。FOMA端末を横向きに持って操作してください。
- ※3 録画時間が短いときは、ジャンプしないことがあります。
- ※4 ボタンを押し続けると、連続して音量を調節できます。

■ ビデオ再生画面のサブメニュー操作

ビデオ再生画面のサブメニュー操作は、一部を除きワンセグ視聴画面のサブメニュー操作と同様になります(☞P.213)。

■ ビデオの再生開始位置を指定する<再生開始位置指定>

- 1 ビデオ再生画面で⏮ ▶ [再生開始位置指定] ▶ 再生開始位置(先頭から何時間何分後)を入力 ▶ ●

■ 詳細情報を表示する<情報表示>

- 1 ビデオ再生画面で⏮ ▶ [情報表示]

キャラ電

テレビ電話中、自分のカメラ映像の代わりにキャラクタを相手へ送信できます。キャラクタには、さまざまなアクションをさせることができます。

- キャラ電のダウンロードについてはP.164

キャラ電を再生する<キャラ電プレーヤー>

データBOXのキャラ電に保存されたキャラ電を再生し、アクションを実行できます。

1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [キャラ電]

2 キャラ電を選ぶ ▶ ●



キャラ電再生画面

マークの意味

	全体アクションモード
	パーツアクションモード

- キャラ電操作中は、ボタンを押しても音は鳴りません。
- キャラ電によっては、自動でアクションするものや、アクションをしないものがあります。

■ キャラ電再生画面のボタン操作

アクションモードの切替	
等倍/拡大の切替	
アクションリストの表示	
	● 実行: アクションを選ぶ ▶ ●
	● 詳細の表示: アクションを選ぶ ▶ ●

アクション操作※	[1]~[9]
アクション中止	[0]

※ アクションリストの番号に対応したアクションを実行します。

■ キャラ電再生画面のサブメニュー操作

[タイトル編集]	P.326
[1件削除]	P.327
[キャラ電登録]	
● ●を押しても操作できます。	
▶ [テレビ電話代替画像]	P.311
▶ [電話帳代替画像]	P.312
[情報表示]	P.327
[キャラ電発信]	P.312
[キャラ電切替] ▶ キャラ電を選ぶ ▶ ●	
[アクション切替]	
● 全体アクションとパーツアクションを切り替えます。	
[アクション一覧] ▶ アクションを選ぶ ▶ ●	
● キャラ電にアクションをさせることができます。	
[バックライト点灯時間]	P.312



キャラ電をテレビ電話代替画像に設定する

<テレビ電話代替画像>




1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [キャラ電]

2 キャラ電を選ぶ ▶ ● ▶ [キャラ電登録] ▶ [テレビ電話代替画像]




電話帳に設定する<電話帳代替画像>

- 1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [キャラ電]
- 2 キャラ電を選ぶ ▶  ▶ [キャラ電登録] ▶ [電話帳代替画像]
- 3 保存方法を選ぶ ▶  ▶ 電話帳に登録

キャラ電を代替画像としてテレビ電話をかける<キャラ電発信>


- 1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [キャラ電]
- 2 キャラ電を選ぶ ▶  ▶ [キャラ電発信]
- 3 発信方法を選ぶ
 - ◆ [電話帳検索] ▶ 相手を選ぶ ▶ 
 - ◆ [直接入力] ▶ 電話番号を入力 ▶ 

再生時の照明を設定する<バックライト点灯時間>

- 1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [キャラ電] ▶  ▶ [バックライト点灯時間]
 - キャラ電一覧画面では: ▶ [キャラ電表示設定] ▶ [バックライト点灯時間]
- 2 設定を選ぶ ▶ 


マチキャラ

マチキャラを表示する

- マチキャラ設定についてはP.96
- 1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [マチキャラ]
 - 2 マチキャラを選ぶ ▶ 
 - 全画面表示:

メロディプレーヤー

メロディを再生する

データBOXのメロディに保存されたメロディを再生できます。
 ● 着信パイプレータ( P.87)を[メロディ連動]に設定すると、メロディ再生時にもパイプレータが動作します。

- 1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [メロディ]
- 2 メロディを選ぶ ▶ 
 - 停止:



メロディ再生画面

- メロディによっては、再生できないものがあります。

■ メロディ再生画面のサブメニュー操作

[データ編集]

- ▶ [タイトル編集]  P.326
- ▶ [ファイル名編集]  P.326

[1 件削除]

 P.327

[音設定]

 P.313

[情報表示]

 P.327

[移動/コピー]

- ▶ [1 件移動]  P.327
- ▶ [microSDへ 1 件移動]  P.320
- ▶ [microSDへ 1 件コピー]  P.318

[データ送信]

- ▶ [赤外線送信]  P.331
- ▶ [i C 送信]  P.334

メロディ設定

- ▶ [イコライザ設定] ▶ 種類を選ぶ ▶ ●
- ▶ [ステレオ効果設定] ▶ 効果を選ぶ ▶ ●
 - ●を押しても操作できません。
 - 効果についてはP.86

再生時の音量を調節する<音量設定>

- 1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [メロディ] ▶ ● ▶ [音量設定]
 - メロディー画面では: ● ▶ [メロディ設定] ▶ [音量設定]
- 2 ●で音量を調節 ▶ ●

メロディを連続して再生する<連続再生>

指定したフォルダ内のメロディを連続して再生できます。

- 1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [メロディ]
- 2 フォルダを選ぶ ▶ ● ▶ [連続再生]
 - 次のメロディを再生: ●
 - メロディの先頭に戻る: ●
 - 前のメロディを再生: ●メロディの先頭で●

メロディの再生部分を指定する<開始位置選択>

- 1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [メロディ]
- 2 フォルダを選ぶ ▶ ● ▶ ● ▶ [メロディ設定] ▶ [開始位置選択]
- 3 再生部分を選ぶ ▶ ●

- ポイント再生で再生される部分はあらかじめ指定されています。また、[ポイント再生]に設定しても、開始位置が指定されていないメロディのときはフルコース再生されます。

メロディを添付して i モードメールを送信する

- ファイルの添付についてはP.128

- 1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [メロディ]
- 2 メロディを選ぶ ▶ ●
- 3 メールを作成・送信

- 相手の機種がFOMA SH900iより前に発売された機種の場合は、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。
- 次のメロディには、一部 i モードメールに添付できないものがあります。
 - ファイル形式がMFiのメロディ
 - メールに添付されたメロディ
 - i モードでダウンロードしたメロディ
 - i アプリから取得したファイル形式がSMFのメロディで、ファイル制限ありのもの

メロディを着信音などに設定する<音設定>

- 1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [メロディ]
- 2 メロディを選ぶ ▶ ● ▶ [音設定]
 - ●を押しても音設定ができます。
- 3 項目を選ぶ ▶ ●

microSDカードについて

FOMA端末(本体)内の電話帳やメール、ブックマークなどのデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータをFOMA端末(本体)に取り込むことができます。

microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要となります。

microSDカードおよびmicroSDカードアダプタをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

- SH-02Aでは市販の2GBバイトまでのmicroSDカード、16GBバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています(2009年11月現在)。microSDカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については次のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。

- iモードから[SH-MODE](2009年11月現在)
[i Menu] ▶ [メニューリスト] ▶ [ケータイ電話メーカー] ▶ [SH-MODE]

- パソコンから

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-02a/>

なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

- FOMA端末の電源を入れたままの状態でもmicroSDカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- 利用できるファイルのサイズは、1ファイル2GBバイトまでです。
- フォトの録画サイズは、1ファイル2GBバイトまでです。
- サイトから取得した、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、iモード、メロディ、着うたフル[®]、きせかえツール、電子書籍/電子辞書/電子コミックをmicroSDカードに移動できます。ただし、IP(情報サービス提供者)が許可していないときは保存できません。



サイト 接続用
QRコード

- FOMA端末にmicroSDカードを挿入した直後(FOMA端末で使用するための情報を書き込み中)や、microSDカード内のデータ編集中に、microSDカードを取り外したり、電源を切らないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- フォーマット(初期化)されていないmicroSDカードを使うときは、FOMA端末でフォーマットする必要があります(※P.322)。パソコンなどでフォーマットしたmicroSDカードは、FOMA端末では正常に使用できないことがあります。
- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されるのでご注意ください。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できないことがあります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- 他のFOMA端末やパソコンなどで使用していたmicroSDカードを挿入したときは、使用できないことがあります。不要なデータを削除してから、再度挿入してください。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いいたします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

microSDカードの取り付け/取り外し

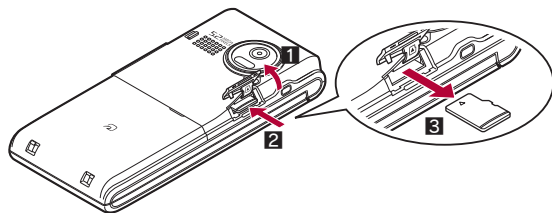
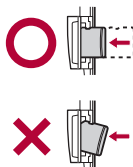
■ microSDカードを挿入する

FOMA端末の電源を切ってからmicroSDカードを取り付けてください。

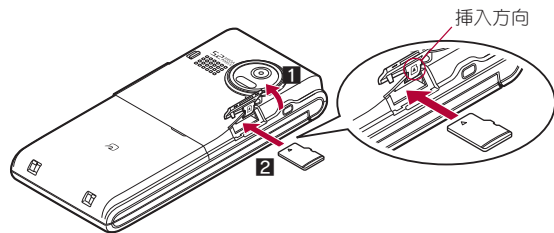
1 microSDカードスロットカバーを開いて引き出す(1)

2 microSDカードの金属端子面を下に向けてゆっくりと挿入する(2)

- microSDカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態が無理に押し込まないでください。microSDカードスロットが破損することがあります。
- 挿入方向がmicroSDカードスロットカバーの裏側に記載されています。参考に挿入してください。
- 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり指で押し込んでください。



3 microSDカードスロットカバーを閉じる



- microSDカードスロットを顔の方に向けて、挿入したり、取り外ししたりしないでください。急に指を離すとmicroSDカードが飛び出し危険です。
- 電源を入れた状態で、microSDカードを取り付けたり、取り外したときには、警告音が鳴ります。

■ microSDカードを取り外す

FOMA端末の電源を切ってからmicroSDカードを取り外してください。

1 microSDカードスロットカバーを開いて引き出す(1)

2 microSDカードを軽く押し込む(2)

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSDカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、FOMA端末やmicroSDカードを破損させるおそれがあります。

3 microSDカードを取り外す(3)

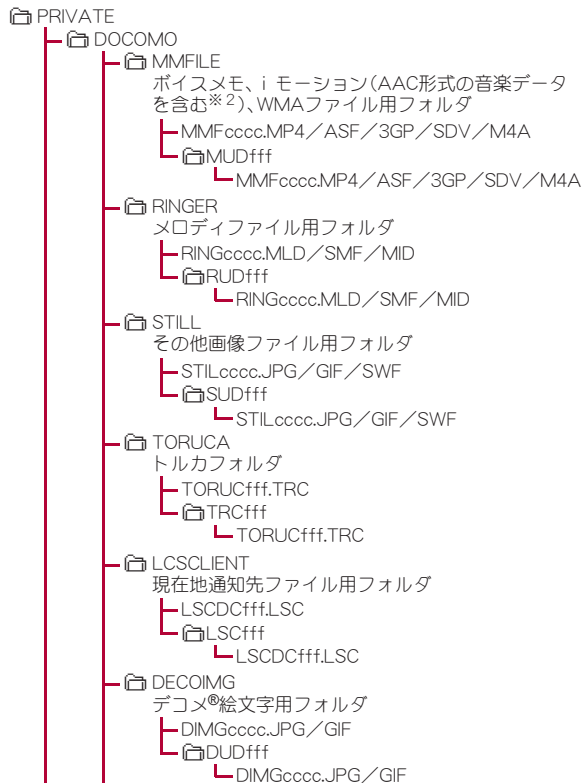
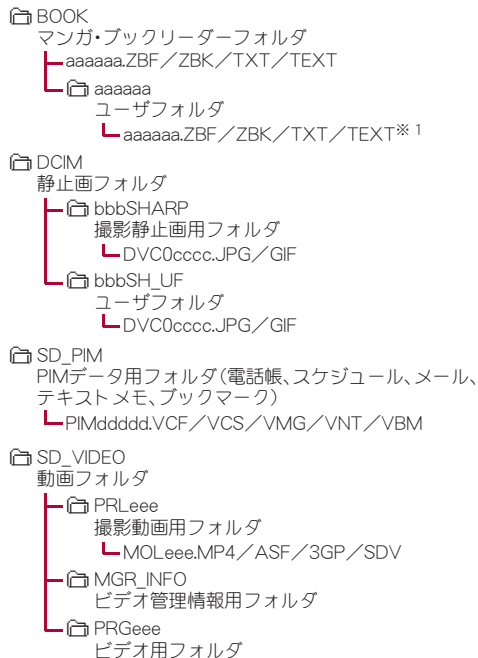
- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。取り外したあと、microSDカードスロットカバーを閉じます。

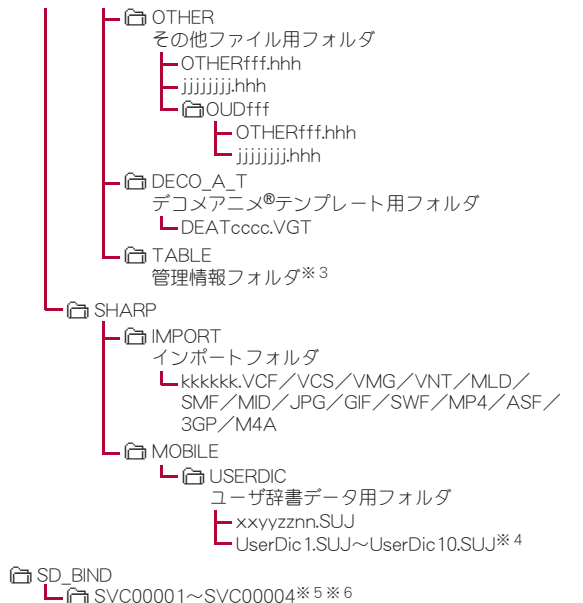
microSDカードのフォルダ構成

microSDカード内のフォルダ構成と、各フォルダに格納されるデータのファイル名などは以下のとおりです。

- パソコンなどからmicroSDカードにデータを書き込むときも、以下のフォルダ構成、ファイル名にする必要があります。
- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。
 - aaaaaa: 2バイト文字を含む64文字以下
 - ・ ¥(円記号)、/(スラッシュ)、:(コロン)、*(アスタリスク)、?(クエスチオンマーク)、"(ツェーダッシュ)、<(中括弧)、>(中括弧)、| (垂直バー)を除く
 - bbb: 100~999の3桁の半角数字(000~099に変更しても認識されません)
 - cccc: 0001~9999の4桁の半角数字
 - dddd: 00001~65535の5桁の半角数字
 - eee: 001~FFFの3文字の半角英数字(16進数)
 - fff: 001~999の3桁の半角数字
 - hhh: 3文字以内の半角英数字
 - jjjjjjj: 2バイト文字を含め8バイト以下(拡張子を除く)

- kkkkkk: 2バイト文字を含め228文字以下(拡張子を除く)
- xxxyyzznn: 半角数字で、xxは年、yyは月、zzは日、nnは00~99





- ※1 ユーザフォルダ名とファイル名(拡張子を除く)合わせて228バイト以下
- ※2 格納できるデータの種類についてはP.232, P.305
- ※3 [TABLE]フォルダの下には[DCIM]、[MMFILE]、[RINGER]、[LCSCLIENT]、[STILL]、[SD_VIDEO]、[TORUCA]、[DECOIMG]、[OTHER]、[DECO_A_T]それぞれについて、付加情報を格納するフォルダがあります。

- ※4 各ダウンロード辞書ごとにダウンロード辞書データが作成されます。
- ※5 移行可能コンテンツ、i アプリデータ、着うたフル®、電子コミックをmicroSDカードに保存した際、[SVC00001]から順にフォルダが作成されます。
- ※6 次の場合は、[移行可能コンテンツ]フォルダ内のデータを参照できなくなることがあります。そのときは、microSDカードをSH-02Aでフォーマット(P.322)することをおすすめします。なお、microSDカードをフォーマットすると、[移行可能コンテンツ]フォルダ内のデータを含むすべてのデータが消去されますのでご注意ください。
- [移行可能コンテンツ]フォルダ内([SD_BIND]フォルダ内)のデータをパソコンで削除・移動・編集したとき
 - データを移動・削除・保存中にmicroSDカードや電池パックを抜いたりしたとき
- パソコンでmicroSDカードにデータを保存しようとしたときに該当するフォルダがないときは、フォルダ構成に従ってフォルダを作成してからデータを保存してください。インポートフォルダについては、microSDカードをFOMA端末に挿入するか、FOMA端末でフォーマットすると自動的に作成されます。
 - GIFアニメーションファイルは[STILL]フォルダに入り、それ以外のGIFファイル(デコメ®絵文字を除く)は[DCIM]フォルダに入ります。
 - Flash画像は[STILL]フォルダに入ります。
 - パソコンでフォルダ名の変更や削除をすると、FOMA端末でmicroSDカードのデータを正しく表示できなくなります。
 - FOMA SH902i以前に発売された機種をご利用のお客様で、microSDカードの¥PRIVATE¥SHARP¥VOICEフォルダに音のみのi モーション(AAC形式の音楽データを含む)を保存しているときは、¥PRIVATE¥DOCOMO¥MMFILEフォルダに移動する必要があります。移動してからmicroSDカードの管理情報を更新してください。
 - SH-01Aよりあとに発売された機種をご利用のお客様で、microSDカードの¥PRIVATE¥DOCOMO¥BOOKフォルダに電子書籍などを保存しているときは、マンガ・ブックリーダーの表示フォルダ切替で[マンガ・ブックリーダー 2]を選択すると表示できます。

■ microSDカードの保存件数

- 保存するデータの大きさや、microSDカードの容量によっては、件数が少なくなることがあります。

機能	件数
電話帳、スケジュール、テキストメモ、ブックマーク、iモードメール/SMS/エリアメール	合わせて最大65535件
静止画	999フォルダ※/1フォルダ最大400件
i モーション	999フォルダ/1フォルダ最大400件
メロディ	999フォルダ/1フォルダ最大400件
トルカ	999フォルダ/1フォルダ最大999件
現在地通知先	999フォルダ/1フォルダ最大999件
デコメアニメ [®] テンプレート	最大400件

※ カメラフォルダ(静止画)の最大作成可能件数は900件です。

- ワンセグの保存件数についてはP.217
- ミュージックプレイヤーの保存件数についてはP.232
- マンガ・ブックリーダーの保存件数についてはP.335

FOMA端末とmicroSDカードの間でデータをコピーする

- コピーできるのは次のデータです。

- 電話帳
- スケジュール
- テキストメモ
- ブックマーク
- iモードメール/SMS/エリアメール
- 画像
- i モーション
- メロディ
- トルカ
- 電子書籍/電子辞書/電子コミック
- 現在地通知先
- デコメアニメ[®]テンプレート
- ビデオ(FOMA端末→microSDカードのみ)

FOMA端末からmicroSDカードにコピーする

<microSDへコピー>

例: 電話帳のとき

1 待受画面で

2 名前を選ぶ▶ [📞]▶ [コピー]▶ [microSDへコピー]

- 内容表示画面では: [📞]▶ [コピー]▶ [microSDへ1件コピー]▶ [はい]

3 コピー方法を選ぶ

- ◆ [1件コピー]
- ◆ [グループ内全件コピー]▶ グループを選ぶ▶ [📞]▶ 端末暗証番号を入力▶ [📞]
- ◆ [全件コピー]▶ 端末暗証番号を入力▶ [📞]
- ◆ [選択コピー]▶ 名前を選ぶ▶ [📞]▶ [📞]

4 [はい]

- microSDカードにデータをコピーすると、管理情報もmicroSDカードに書き込まれます。
- ファイル制限のあるデータはコピーできません。
- データのサイズやmicroSDカードのメモリ使用状況によっては、コピーできないことがあります。

電話帳について

- 名前やフリガナ、電話番号、メールアドレスの登録場所が変わることがあります。
- 次の情報はコピーされません。
 - メモリ番号
 - グループ設定
 - シークレット設定
 - シークレットコード
 - 着信音設定
 - 着信ランプ設定
 - 代替画像設定
 - 電話帳2in1設定

スケジュールについて

- 次の情報はコピーされません。
 - アラーム時刻以外のアラーム情報
 - 画像設定
 - 連絡先
 - シークレット設定
 - 視聴予約、録画予約
 - 祝日設定

- 終了日時が入力されていないデータをコピーすると、終了日時に開始日時が設定されます。

ブックマークについて

- フォルダ情報はコピーされません。

メールについて

- 1件あたり最大100Kバイトを超えるメールは、添付ファイルが削除されてコピーされます。
- フォルダ情報はコピーされません。
- コピーしたメールは保護設定できません。

画像、i モーションについて

- JPEG画像をコピーすると、画像のファイルサイズが変わることがあります。このとき、microSDカード側で表示されるサイズが実際のファイルサイズになります。
- フレーム画像はmicroSDカードにコピーされません。

ビデオについて

- タブリング10に対応している番組のビデオは9回目までコピーできます。10回目は移動されます。タブリング10に対応していない場合はコピーされず、移動されます。コピーできない場合、ビデオは移動されFOMA端末から削除される旨のメッセージが表示されません。[はい]を選択すると移動します。

microSDカードからFOMA端末にコピーする

<本体へコピー>

例：電話帳のとき


1 待受画面で    [microSDデータ参照]

2 データを選ぶ   [本体へコピー]

3 コピー方法を選ぶ

- ◆ [1件コピー]
- ◆ [選択コピー] ▶ 名前を選ぶ   
- ◆ [全件コピー] ▶ 端末暗証番号を入力  

4 [はい]

- メロディ・Flash画像は100Kバイト、JPEG画像・GIF画像は2Mバイト、i モーションは10MバイトまでFOMA端末(本体)にコピーできます。
- microSDカードにバックアップ()されたデータの場合、詳細画面を表示させると、そのデータに限り本体へコピーすることができます。

電話帳について

- 名前が未登録のデータがコピーされたときは[No Name]と表示されます。




ブックマークについて

- 選択コピー/全件コピーを行ったときは、FOMA端末(本体)の i モードまたはフルブラウザのブックマークのどちらかが最大件数まで保存されると、それ以降のブックマークはコピーされません。

コンテンツ移行対応

FOMA端末とmicroSDカードの間でデータを移動する

サイトから取得したFOMA端末外への出力が禁止されているデータを、FOMA端末とmicroSDカードの間で移動できます。また、録画したビデオをmicroSDカードに移動することができます。

- 移動できるのは次のデータです。
 - 画像 ■ i モーション ■ メロディ ■ 着うたフル®
 - きせかえツール ■ 電子書籍/電子辞書/電子コミック
 - ビデオ (FOMA端末→microSDカードのみ)*
- ※ データによっては、microSDカードに9回目までコピーされ、10回目には移動されます。コピー方法についてはP.318
- 移動の可否やビデオの残りのコピー回数についてはデータの[情報表示]から確認できます(P.327)。
- 着うたフル®の移動についてはP.239
- FOMA端末で撮影した画像など、著作権のないデータは移動できません。ただし、コピーすることはできます。

FOMA端末内のデータをmicroSDカードに移動する<microSDへ移動>

例: i モーションのとき

1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [i モーション]

- 全件移動するとき: Ⓞ ▶ [microSDへ移動] ▶ [全件移動] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ Ⓞ

2 i モーションを選ぶ ▶ Ⓞ ▶ [移動/コピー]

[microSDへ移動]

- 内容表示画面では: Ⓞ ▶ [移動/コピー] ▶ [microSDへ1件移動]

3 移動方法を選ぶ

- ◆ [1件移動]
- ◆ [選択移動] ▶ i モーションを選ぶ ▶ Ⓞ ▶ Ⓞ
- ◆ [フォルダ内全件移動] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ Ⓞ
- 移動先フォルダの指定: [移動先選択] ▶ 移動先フォルダを選ぶ ▶ Ⓞ

microSDカード内のデータをFOMA端末に移動する<本体へ移動>

例: i モーションのとき

1 カスタムメニューで[Data box] ▶ [i モーション] ▶ [→microSD] ▶ [移行可能コンテンツ]

- 全件移動するとき: [移行可能コンテンツ]フォルダを選ぶ ▶ Ⓞ ▶ [本体へ移動] ▶ [全件移動] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ Ⓞ

2 i モーションを選ぶ ▶ Ⓞ ▶ [移動/コピー] ▶ [本体へ移動]

- 内容表示画面では: Ⓞ ▶ [移動/コピー] ▶ [本体へ1件移動]

3 移動方法を選ぶ

- ◆ [1件移動]
- ◆ [選択移動] ▶ i モーションを選ぶ ▶ Ⓞ ▶ Ⓞ

◆ [フォルダ内全件移動] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ Ⓞ

- microSDカードに移動したデータをFOMA端末(本体)へ移動できないのは、次の場合です。
 - データの詳細情報でFOMA端末(本体)への移動が[可]の場合に、データ取得時と同じFOMAカードを挿入しているとき
 - データの詳細情報でFOMA端末(本体)への移動が[可(同一機種間)]の場合に、データ取得時と同じ機種に同じFOMAカードを挿入しているとき

バックアップ/復元

FOMA端末(本体)のデータをバックアップ/復元する

FOMA端末→microSDカードにバックアップする<microSDへバックアップ>

次の各機能のデータと辞書データを、microSDカードにバックアップデータとして保存できます。

- 電話帳
- メール
- スケジュール
- ブックマーク
- テキストメモ

- バックアップデータには、バックアップした日付・時刻を含む名前が付けられます。あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください(☞P.44)。

例: 2009年3月24日午後1時5分にバックアップ→
[datagr090324_1305]

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [microSD管理] ▶ [バックアップ/復元] ▶ [microSDへバックアップ]

2 データ種別を選ぶ ▶ Ⓞ

3 端末暗証番号を入力 ▶ Ⓞ ▶ [はい]

- 電池残量が少ないときはバックアップできません。

- バックアップされたデータは、他のFOMA端末で読み込んでも利用できないことがあります。
- 辞書データは、ユーザ辞書とダウンロード辞書変換した辞書が保存されます。ユーザ辞書は1ファイルで、ダウンロード辞書変換した辞書は辞書ごとに1ファイルで保存されます。それ以外のデータは、機能ごとに1ファイルで保存します。

電話帳について

- 名前やフリガナ、電話番号、メールアドレスの登録場所が変わることがあります。
- 電話帳2in1設定もバックアップされます。
- 次の情報はバックアップされません。
 - シークレットコード ■ 着信音設定 ■ 着信ランプ設定
 - 代替画像設定 ■ FOMAカード内の電話帳
 - グループ名以外のグループ設定
 - 再配布不可の画像ファイル
- 電話帳をバックアップするときは、所有者情報の保存確認画面が表示されます。2in1のモードを[Bモード]に設定していても、Aナンバーの所有者情報がバックアップされます。
- タイヤル発信制限中は、電話帳をバックアップできません。

スケジュールについて

- 次の情報はバックアップされません。
 - アラーム時刻以外のアラーム情報 ■ 画像設定 ■ 連絡先
 - 視聴予約、録画予約 ■ 祝日設定
- 終了日時が入力されていないデータをバックアップすると、終了日時に開始日時が設定されます。

メールについて

- 次の情報はバックアップされません。
 - iアプリTo ■ フォルダ情報 ■ 再配布不可の添付ファイル
 - FOMAカード内のSMS

辞書データについて

- 前回バックアップした辞書データがある場合、ユーザ辞書は新規ファイルとして追加保存されます。ダウンロード辞書変換した辞書は前回のバックアップデータをすべて消去してから保存されます。

microSDカード→FOMA端末にバックアップデータを読み込む<本体へ復元>

- 1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [microSD管理] ▶ [バックアップ/復元] ▶ [本体へ復元]
- 2 データ種別を選ぶ ▶ ●
- 3 バックアップデータを選ぶ ▶ ●
 - 内容の確認:バックアップデータを選ぶ ▶ ● ▶ [データ参照]
 - 情報の確認:バックアップデータを選ぶ ▶ ● ▶ [情報表示]
- 4 端末暗証番号を入力 ▶ ●
- 5 読み込み方法を選ぶ
 - ◆ [上書き] ▶ [はい]
 - ◆ [追加]

- 電池残量が少ないときは復元できません。

電話帳について

- ピクチャーコールに設定した画像も復元されます。ただし、i モーションは、復元されません。
- バックアップデータを上書きする場合、電話帳のグループ名も上書きされ、上書き対象でないグループ設定は初期化されます。
- 所有者情報を含む電話帳のバックアップデータを復元するときは、操作5を行うと所有者情報を復元するかどうかの確認画面が表示されます。
[はい]を選択すると、ご契約の電話番号を除いて上書きされます。
[いいえ]を選択すると、所有者情報を1件の電話帳として登録します。
- 電話帳のバックアップデータ復元時に登録件数が1000件に達したときは、それ以降の電話帳は復元されません。

ブックマークについて

- フォルダ情報はバックアップされないため、復元したブックマークは[Bookmark]フォルダに保存されます。

- バックアップデータを本体へ復元するときは、[i モード]または[フルブラウザ]のどちらを選択しても両方のバックアップデータが表示されますが、復元されるのは選択した方のバックアップデータだけです。

メールについて

- フォルダ情報はバックアップされないため、復元した受信メールは[受信トレイ]に、送信メールは[送信トレイ]に、未送信メールは[未送信トレイ]に保存されます。
- メールは、転送に時間がかかることがあります。

辞書データについて

- ユーザ辞書は上書きされ、ダウンロード辞書変換した辞書は追加保存されます。

バックアップデータを削除する<削除>

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [microSD管理] ▶ [バックアップ/復元] ▶ [本体へ復元]

2 データ種別を選ぶ ▶ ●

3 バックアップデータを選ぶ ▶ ◎ ▶ [削除]

4 削除方法を選ぶ

- ◆ [1件削除]
- ◆ [選択削除] ▶ データを選ぶ ▶ ● ▶ ◎
- ◆ [フォルダ内全件削除] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ◎

5 [はい]

- [Bookmark]を選択したときは、[i モード]または[フルブラウザ]を選択します。どちらを選択しても、両方のバックアップデータが表示されます。

microSDデータ参照

microSDカードのデータをプレビューする

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [microSD管理] ▶ [microSDデータ参照]

- 各機能の画面では：◎ ▶ [microSDデータ参照]

2 データを選ぶ ▶ ●

microSDカードの管理について

microSDカードをフォーマットする<フォーマット>

- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [microSD管理] ▶ [フォーマット]

2 端末暗証番号を入力 ▶ ◎ ▶ [はい]

- 電池残量が少ないときはフォーマットできません。
- 実行中は、microSDカードを抜かないでください。
- フォーマットを中止すると、microSDカードがFOMA端末やパソコンなどで認識されなくなります。認識されなくなったときは、フォーマットをやり直してください。
- microSDカードの種類によっては、著作権保護機能に対応していないため、フォーマットできないことがあります。microSDカードを挿入し直すとご使用いただけることもありますが、そのmicroSDカードはFOMAサポート対象となっていないため、データの保存やコピーなどの保証はいたしかねます。
- microSDカードの製造メーカーや容量などについてはP.314

microSDリーダーライターとして使う

<USBモード設定>

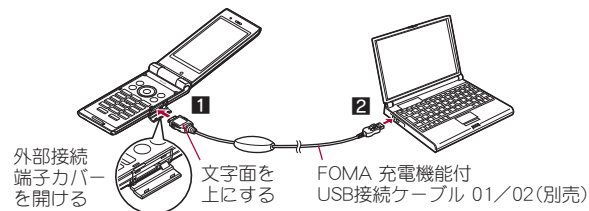
FOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)でパソコンに接続して利用するときのモードには、次のモードがあります。microSDリーダーライターとして使う場合は、[microSDモード]で接続してください。

通信モード	パケット通信、64Kデータ通信、データの送受信(OBEX™通信)をするときのモードです(☞P.398)。
microSDモード	microSDカードのデータを読み込み/書き込みするときのモードです。
MTPモード	Windows Media Player 10/11を利用してmicroSDカードに音楽データを転送するときのモードです。登録方法については☞P.232

● 通信モード動作中はUSBモード設定の変更はできません。

1 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02のFOMA 端末側コネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む(1)

2 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02のパソコン側コネクタをパソコンのUSBコネクタに差し込む(2)



3 待受画面で●▶ストックアイコン[⇄] (USBモード設定)を選ぶ▶●

- USBモード設定が[microSDモード]/[MTPモード]の場合は、ストックアイコンが表示されずmicroSDモード/MTPモードで接続されます。

4 [microSDモード]▶[はい]

通信モードに戻る

- サイドボタン以外のいずれかのボタンを押す▶[はい]
 - USBモード設定は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を取り外しても保持されます。

■ 利用するモードを設定する

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を接続して利用するモードを、あらかじめ設定しておくことができます。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD管理]▶[USBモード設定]

- [Settings]▶[一般設定]▶[USBモード設定]でも操作できます。

2 モードを選ぶ▶●

- パソコンに接続中に操作した場合、[microSDモード]/[MTPモード]を選択すると、切り替え確認画面が表示されます。

- FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして利用するには、次の機器が必要です。

項目	説明
接続ケーブル	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02
パソコン	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02が使用できるUSBポート (Universal Serial Bus Specification Rev 1.1準拠)が使用可能なパソコン
対応OS	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista (いずれも日本語版)

- パソコンに、新しいハードウェアを検索する旨の画面が表示された場合は[キャンセル]をクリックしてください。

- FOMA端末とパソコンが正しく接続されていないときは、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。パソコンの電源についても確認してください。
- microSDモードへの切り替え中やmicroSDモード中はmicroSDカードを抜かないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなる場合があります。
- データの読み込み／書き込み中はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

microSDカードの管理情報を更新する

<管理情報の更新>

microSDカードを他の機器で利用したときは、microSDカードの管理情報を更新する必要があります。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [microSD管理] ▶ [管理情報の更新]

2 項目を選ぶ ▶ ● ▶ ● ▶ [はい]

- すべてを更新:[全て] ▶ [はい]

- 電池残量が少ないときは管理情報を更新できません。
- microSDカードの空き容量がないときは、管理情報を更新できないことがあります。
- FOMA端末で管理情報を更新しないと、microSDカードが正しく動作しないことがあります。
- microSDカード内のファイル数やデータ量によっては、管理情報の更新が完了するまで時間がかかることがあります。
- 更新中はmicroSDカードを抜かないでください。

- 更新中に次の機能はご利用になれません。
 - i アプリ
 - 静止画・動画撮影
 - バーコードリーダー
 - 赤外線受信
 - microSDカードのメモリ確認
 - 各機能からのmicroSDデータ参照

パソコンなどで作成したデータをFOMA端末で確認する<インポート>

パソコンなどで作成したデータをドコモケータイdatalink (P.402)を使ってmicroSDカードのインポートフォルダにコピーすると、FOMA端末で確認できます。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [microSD管理] ▶ [インポート]

2 データを選ぶ ▶ ●

- 通常のデータ操作と同様に、サブメニューからデータの削除、コピー、情報表示などが利用できます。

- 横3840×縦3840ドットを超える静止画(JPEG/GIF)は表示できないことがあります。その場合は、サムネイル画像を表示することもあります。
- 次のようなメールは、添付ファイルの一部または全部が削除されます。
 - 添付ファイルの合計が100Kバイトを超えるメール
 - 添付ファイルが合計11件以上添付されているメール
- インポートフォルダのデータについては、次のようなファイル名の制限があります。制限を超えているデータは表示されず、インポートできません。
 - PIMデータ、静止画、i モーション、メロディは、全角・半角を問わず28文字以内(拡張子を除く)
- ファイル名が英小文字で8文字以下のときは、インポートフォルダでは英大文字で表示・インポートされます。
- バックアップデータをインポートフォルダに入れると、データ内の最初の1件のみを表示します。

- インポートフォルダからFOMA端末にデータをコピーする場合、ファイル名に特殊な記号やカタカナが含まれているときは、コピーできないことがあります。

- ※ 2 microSDカードの[マンガ・ブックリーダー]フォルダとユーザーフォルダ内のデータの場合に操作できます。
- ※ 3 FOMA端末(本体)の[iモード]フォルダとmicroSDカードの[マンガ]フォルダ内のデータの場合に操作できます。

- データBOXのミュージックについてはP.238
- データBOXのMusic&VideoチャネルについてはP.231

データBOX・メディアツールを管理する

データBOX、メディアツール内に保存されているデータを管理するために、フォルダの作成/削除やデータの移動/コピーなどができます。

- それぞれのデータを管理するために、次の操作ができます。

		フォルダ管理				データ管理						
		フォルダ新規作成	フォルダ名編集	フォルダセキュリティ	削除	タイトル編集	ファイル名編集	ソート	フォルダ間移動	情報表示	ファイル制限	削除
データBOX	マイピクチャ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	i モーション	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ワンセグ	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○
	メロディ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	きせかえツール	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○
	マチキャラ	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○
	キャラ電	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○
メディアツール	マンガ・ブックリーダー	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○

○:操作できます。

×:操作できません。

- ※ 1 FOMA端末(本体)内のデータと、microSDカードの[マンガ]フォルダ内のデータの場合に操作できます。

フォルダを管理する

■ ユーザフォルダを作成する<フォルダ新規作成>

- データBOXでは、各データ種別ごとに最大20個のユーザーフォルダを新規作成できます。
- マンガ・ブックリーダーでは、最大397個のユーザーフォルダを作成できます。[マンガ]フォルダについては、フォルダ内にさらに最大999個のフォルダを作成することができます。

1 フォルダー一覧画面でⓂ▶[フォルダ管理]▶[フォルダ新規作成]

2 フォルダ名を入力▶Ⓞ

- microSDカード内にユーザーフォルダを作成するときは、作成するフォルダの種類を選択します。
- データBOX内のときは、全角9文字(半角18文字)まで入力できます。
- [移行可能コンテンツ]フォルダ内のときは、全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
- マンガ・ブックリーダー内のときは、全角・半角64文字まで入力できます。ただし、[マンガ]フォルダ内のときは、全角10文字(半角20文字)までです。

■ フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

ユーザフォルダおよび[移行可能コンテンツ]フォルダ内のフォルダ名を変更することができます。

1 フォルダを選ぶ ▶ ④ ▶ [フォルダ管理] ▶ [フォルダ名編集]**2 フォルダ名を編集 ▶ ⑤****■ ユーザフォルダにセキュリティを設定する****<フォルダセキュリティ>**

FOMA端末内のユーザフォルダにセキュリティを設定できます。

- フォルダセキュリティを設定すると、フォルダのマークが[🔒]に変わります。フォルダ内を表示するときは、端末暗証番号を入力します。

1 ユーザフォルダを選ぶ ▶ ④ ▶ [フォルダ管理] ▶ [フォルダセキュリティ]**2 端末暗証番号を入力 ▶ ⑤****3 設定を選ぶ ▶ ⑥****■ ユーザフォルダを削除する<削除>****1 ユーザフォルダを選ぶ ▶ ④ ▶ [削除]****2 削除方法を選ぶ**

- ◆ [フォルダ 1 件削除]
- ◆ [フォルダ選択削除] ▶ フォルダを選ぶ ▶ ⑤ ▶ ⑥
 - ・ マンガ・ブックリーダーのとき: [フォルダ選択削除] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ⑤ ▶ フォルダを選ぶ ▶ ⑤ ▶ ⑥ ▶ [はい]
- ◆ [全フォルダ内全件削除]
- ◆ [全フォルダ削除]

3 端末暗証番号を入力 ▶ ⑤ ▶ [はい]

- フォルダ内に待受画面や着信音などの各種機能に設定されているデータが保存されているときは、フォルダ削除できません。

データを管理する**■ タイトルを編集する<タイトル編集>**

- タイトル名はデータ一覧などで表示される名前です。

1 データを選ぶ ▶ ④ ▶ [データ編集] ▶ [タイトル編集]

- ビデオ、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電、マンガ・ブックリーダーのとき: データを選ぶ ▶ ④ ▶ [タイトル編集]
- データによっては [タイトル編集] を選択したあと、[直接入力] (または [タイトル編集]) / [オリジナルタイトルに戻す] を選択します。

2 タイトルを編集 ▶ ⑤

- 全角25文字(半角50文字)まで入力できます。i モーションは全角18文字(半角36文字)まで、電子コミックは全角31文字(半角63文字)まで、電子書籍/電子辞書は全角・半角64文字まで入力できます。

■ ファイル名を編集する<ファイル名編集>

- ファイル名はデータを i モードメールに添付して送信するときに使用される名前です。

1 データを選ぶ ▶ ④ ▶ [データ編集] ▶ [ファイル名編集]

- マンガ・ブックリーダーのとき: データを選ぶ ▶ ④ ▶ [ファイル名編集]

2 ファイル名を編集 ▶ ⑤

- 半角36文字まで入力できます。電子書籍/電子辞書は、全角・半角64文字まで入力できます。
- 半角8文字以内のファイル名および拡張子の英字は、半角小文字が半角大文字に変わることがあります。
- [プリインストール]フォルダ内のデータなど、データによってはファイル名を編集できないものもあります。

■ データを並べ替える<ソート>

例: マイピクチャのとき

1 データー一覧画面で⑥▶[静止画設定]▶[ソート]

- マンガ・ブックリーダーの[i モード]/[マンガ]フォルダ内のデータのとき: データー一覧画面で⑥▶[ソート]

2 ソート方法を選ぶ▶◎

- microSDカード内データのファイル制限を変更すると日時情報が更新されるため、情報表示の保存日時で表示される日時と日付順でソートした結果が一致しないことがあります。

■ データを別のフォルダに移動する<フォルダ間移動>

1 データを選ぶ▶⑥▶[移動/コピー]▶[フォルダ間移動]

- きせかえツールのとき: データを選ぶ▶⑥▶[移動]▶[フォルダ間移動]
- マチキャラ、キャラ電のとき: データを選ぶ▶⑥▶[フォルダ間移動]
- 内容表示画面では: ⑥▶[移動/コピー]▶[1件移動]▶操作3へ

2 移動方法を選ぶ

- ◆ [1件移動]
- ◆ [選択移動]▶データを選ぶ▶◎▶⑥
- ◆ [フォルダ内全件移動]▶端末暗証番号を入力▶◎

3 移動先フォルダを選ぶ▶⑥

- マンガ・ブックリーダーのとき: 移動先フォルダを選ぶ▶◎
- データの移動中に⑨や⑩を押すと、中止を示すメッセージが表示されますが、移動処理は中止されません。

- マイピクチャ、メロディ、マンガ・ブックリーダーの[プリインストール]フォルダ内のデータは移動できません。
- ユーザフォルダがないときは移動できません。
- データBOXの場合、ユーザフォルダから元のフォルダへ移動するときは、1件移動しかできません。

- 移動先フォルダの最大保存件数を超えるデータは移動できません。microSDカードの保存件数についてはP.318
- microSDカードの[マルチメディア]フォルダ内のデータは[カメラフォルダ]には移動できません。

■ 詳細情報を表示する<情報表示>

1 データを選ぶ▶⑥▶[情報表示]

- 表示される情報は、データによって異なります。
- サポートブックの情報は表示できません。

■ データを削除する<削除>

1 データを選ぶ▶⑥▶[削除]

- 内容表示画面では: ⑥▶[1件削除]▶[はい]

2 削除方法を選ぶ

- ◆ [1件削除]
- ◆ [選択削除]▶データを選ぶ▶◎▶⑥
- ◆ [フォルダ内全件削除]▶端末暗証番号を入力▶◎

3 [はい]

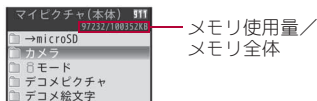
- 待受画面や着信音などの各種機能に設定されているデータは、フォルダ内全件削除で削除できません。
- マイピクチャ、メロディの[プリインストール]フォルダ内のデータや、マンガ・ブックリーダーのサポートブックは削除できません。
- お買い上げ時に登録されているデータを削除後にもう一度ご利用になるときは、i Menu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます(P.119)。

■ メモリの使用状況を確認する<メモリ確認>

■ FOMA端末(本体)のメモリ使用状況を確認する

データBOXのフォルダ一覧画面やデーター一覧画面で、画面右上にFOMA端末(本体)のメモリ使用状況を示す数値が表示されます。

- ミュージックのフォルダ一覧画面では表示されません。



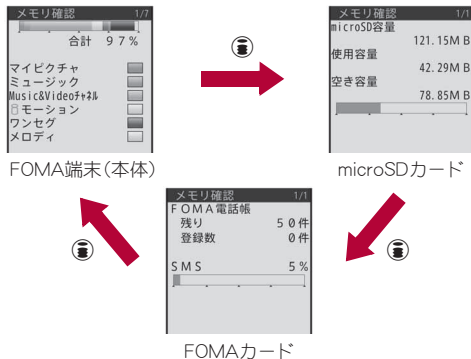
マイピクチャのフォルダ一覧画面の場合

■ 各項目ごとのメモリ使用状況を確認する

FOMA端末(本体)、microSDカード、FOMAカードに保存されているデータの容量や空き容量などを表示します。

1 カスタムメニューで[Settings] ▶ [一般設定] ▶ [確認] ▶ [メモリ確認]

- FOMA端末(本体)のメモリ確認中に、他の機能のメモリ使用状況を表示するときは、を押します。



- 電話帳やスケジュールの登録件数はシークレットデータを含んで表示されます。

- i アプリには削除できないものがあるため、i アプリの使用量が0%になることはありません。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

データを保存するときにメモリが足りなくなると、上書き確認画面が表示され不要なデータやファイルを削除して保存できます。

1 上書き確認画面で[はい]

2 データを選ぶ▶▶▶▶ [はい]

- メモリの確保状態が100%になるまでデータを選択します。
- ミュージックのときは、データを選んでを押すと音楽データが再生されます。

赤外線通信

赤外線通信を利用する

赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、データを送受信することができます。また、i アプリと連携して、赤外線通信機能を搭載した機器と連動させたりできます。

- FOMA端末の赤外線通信機能は、IrMC™ 1.1規格に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC™ 1.1規格に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- FOMA端末の赤外線送受信機能はIrSimple™ 1.0規格に対応しています。
- 赤外線通信中は圏外と同じ状態になり、通話、i モード、データ通信などはできません。
- 通話中やオールロック中、セルフモード中は赤外線通信できません。
- タイヤル発信制限中は、電話帳や所有者情報の送受信ができません。

赤外線通信で送受信できるデータ

- microSDカード内のデータは送受信できません。ただし、microSDカード内のJPEG画像は送信できます。

- FOMAカード内の電話帳は送受信できません。
- ブックマーク、iモードメール、SMS、トルカについてはフォルダ情報が送信されないため、フォルダ分けの設定は反映されません。
- iアプリToが貼り付けられたiモードメールの貼り付け情報は、削除され、送受信されません。

■ FOMA端末から送信できるデータ

機能	1件	全件
電話帳	○	○
スケジュール	○	○
テキストメモ	○	○
iモードメール、SMS、エリアメール	○	○
ブックマーク	○	○
データBOXの画像、iモーション、メロディ	○	×
所有者情報	○	-
現在地通知先	○	○
トルカ	○	○
デコアニメ [®] テンプレート	○	×

- 絵文字をiモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信したときは、正しく表示されないことがあります。iモード端末でも相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。

電話帳について

- 次の情報は送信されません。
 - シークレットコード
 - 着信音設定
 - 着信ランプ設定
 - 代替画像設定
- 1件送信では、グループ設定は送信されません。
- シークレット登録した電話帳はシークレットモードを[ON]に設定しないと1件送信できません。1件送信した場合、シークレット登録は[OFF]で送信されます。
- 全件送信すると、所有者情報やシークレット登録した電話帳も送信されます。

スケジュールについて

- 次の情報は送信されません。
 - アラーム時刻以外のアラーム情報
 - 画像設定
 - 連絡先
 - 視聴予約、録画予約
 - 祝日設定
- 終了日時が入力されていないデータを受信すると、終了日時に開始日時が設定されます。
- シークレット登録したスケジュールはシークレットモードを[ON]に設定しないと1件送信できません。1件送信した場合、シークレット登録は[OFF]で送信されます。
- 全件送信すると、シークレット登録したスケジュールも送信されます。

メールについて

- 貼り付けられたデータ、添付ファイル、保護メールも送信されません。添付不可のデータは送信できません。
- 100Kバイトを超えるメールは、正しく送信できないことがあります。

画像、iモーション、メロディについて

- 送信できるデータはJPEG画像・GIF画像2Mバイト、Flash画像100Kバイト、iモーション2Mバイト、メロディ100Kバイトまでです。
- 赤外線通信で画像を送信すると、画質が劣化したりファイルサイズが変わることがあります。
- 次のようなデータは送信できません。
 - FOMA端末外から取得した、ファイル制限ありのデータ
 - FOMA端末にあらかじめ登録されているデータ
- データBOX内のデータは赤外線通信で送信できないことがあります。
- JPEG画像は高速赤外線通信で送信することができます(※P.301)。

所有者情報について

- 受信側では電話帳として保存されます。
- 2in1利用時は、2in1のモードによって表示される所有者情報が送信されます。

トルカについて

- 次のようなデータは送信できません。
 - 1Kバイトを超えるトルカ
 - 再配布不可のトルカ
 - 100Kバイトを超えるトルカ(詳細)
 - 利用済みトルカ

デコメアニメ®テンプレートについて

- 次のようなデータは送信できません。
 - FOMA端末外から取得した、ファイル制限ありのデコメアニメ®テンプレート
 - FOMA端末にあらかじめ登録されているデコメアニメ®テンプレート

■ FOMA端末で受信できるデータ

機能	1件	全件	格納場所	格納順
電話帳	○	○	電話帳	1件受信時:メモリ番号、010~999→000~009の順で未登録番号に登録 全件受信時:メモリ番号の情報に従って登録
スケジュール	○	○	スケジュール	開始日時順
テキストメモ	○	○	テキストメモ	最終修正日時順
iモードメール、SMS、エリアメール	○	○	iモードメール、SMS	受信/送信/保存日時順
ブックマーク	○	○	ブックマーク	1件受信時:一番上 全件受信時:利用された古い順
データBOXの画像、iモーション、メロディ	○	×	データBOXのマイピクチャ、iモーション、メロディ	該当フォルダ内の[外部取得データ]フォルダの一番上
所有者情報	○	-	電話帳	1件受信時:メモリ番号、010~999→000~009の順で未登録番号に登録
トルカ	○	○	トルカ	-
現在地通知先	○	○	現在地通知先一覧	-

機能	1件	全件	格納場所	格納順
デコメアニメ®テンプレート	○	×	デコメアニメ®テンプレート一覧	-

- 全件受信時に上書きを選択すると、該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。

電話帳について

- 1件受信したデータのグループ設定は、すべて[グループなし]になります。
- 全件受信すると、ご契約の電話番号以外の所有者情報は上書きされません。
- 名前が未登録のデータを受信したときは[No Name]と表示されます。

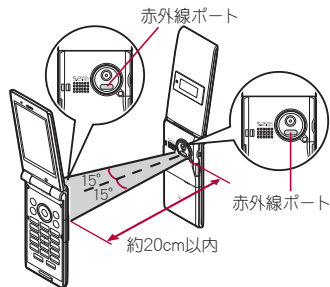
メールについて

- 題名が途中までしか受信できないことがあります。

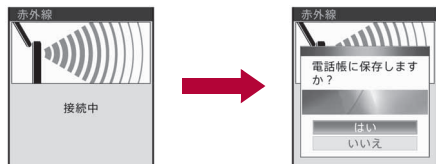
現在地通知先について

- すでに同じ電話番号の現在地通知先が登録されているときは、重複して登録されません。

赤外線通信機能をお使いになる時のご注意



- 図のように受信側と送信側のFOMA端末の赤外線ポートが約20cm以内に向き合うようにしてください。
- データの送受信が終わるまでは、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにして、動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。
- 赤外線通信が正常にできなかったときは、続けるかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、やり直すことができます。FOMA端末を近づけてもう一度通信してください。
- IrSS™通信は、片方向通信のため、受信側からの応答を確認せずに送信します。このため、受信側が受け取れないときでも送信側は正常に終了します。



電話帳を受信した場合

- 送信側のFOMA端末を1件送信状態にします。
- 受信待ち状態になります。30秒以内に送信側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に受信します。

2 [はい]

- ブックマークを受信した場合、同じ内容のブックマークが存在するときは、上書き確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと、現在のデータに上書きされます。

データを1件ずつ送受信する

データを1件送信する<赤外線送信>

例：電話帳のとき

- 1 待受画面で⊕
- 2 名前を選ぶ▶⊗▶[データ送信]▶[赤外線送信]
 - 内容表示画面では：⊗▶[データ送信]▶[赤外線送信]
 - 受信側のFOMA端末を1件受信待ち状態にします。
- 3 [送信]▶[はい]

データを1件受信する<赤外線受信>

- 1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[赤外線受信]▶[受信]▶[はい]

データを全件送受信する

- 全件データの送受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。認証パスワードは、赤外線通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな4桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。

データを全件送信する<赤外線全件送信>

例：電話帳のとき

- 1 待受画面で⊕▶⊗▶[データ送信]▶[赤外線送信]▶[全件送信]
 - 受信側のFOMA端末を全件受信待ち状態にします。
- 2 端末暗証番号を入力▶⊙

3 認証パスワードを入力 ▶▶▶ [はい]

- 受信側で入力した認証パスワードと一致すると、送信が開始されます。

- スケジュールを全件送信するときは、カレンダー画面またはスケジュール全件表示にしてから操作してください。

データを全件受信する<赤外線全件受信>

- 全件受信すると、受信したデータにより上書きされ、登録していたデータはすべて削除されますので、ご注意ください。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [赤外線受信] ▶ [全件受信] ▶ [はい]

2 端末暗証番号を入力 ▶◎

- 送信側のFOMA端末を全件送信状態にします。

3 送信側と同じ認証パスワードを入力 ▶◎

- 受信待ち状態になります。30秒以内に送信側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。

4 [はい]

- 受信の中止:受信中に◎

i アプリと連携して赤外線通信を行う

実行中の i アプリから赤外線通信を利用したり、赤外線通信から i アプリを起動したりできます。

- i アプリから赤外線通信を起動する方法についてはP.264

赤外線通信から i アプリを起動する

i アプリ起動機能を持つ赤外線通信機器からの赤外線通信中に、i アプリ起動の信号を受信すると、ソフトを起動できます。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [赤外線受信] ▶ [受信] ▶ [はい]

- 受信待ち状態になります。送信側から i アプリ起動の信号を受信すると、ソフトが起動します。

- i アプリTo設定を[許可しない]に設定しているときは、赤外線通信から i アプリを起動できません。
- i アプリ待受画面として起動することはできません。

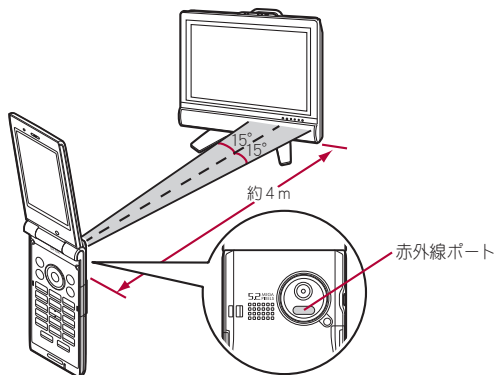
赤外線リモコン

赤外線リモコン機能を利用する

- i アプリのソフトからFOMA端末の赤外線ポートを利用して、テレビやビデオなど赤外線リモコンに対応した機器を操作できます。
- 赤外線リモコン機能を利用するときは、赤外線リモコン機能に対応した i アプリのソフトをダウンロードする必要があります。

リモコン操作を行う

赤外線リモコン機能に対応した i アプリを起動し、FOMA端末の赤外線ポートをテレビやビデオなどのリモコン受光部の正面に向けて、リモコン操作を行います。



- 実際の操作方法は i アプリのソフトによって異なります。
- 操作できる距離は、約 4 m です (相手側の機器や周囲の明るさなどによって変わります)。

- セルフモード中は、赤外線リモコン機能を使用できません。
- 相手側の機器によっては、正常に操作できないことがあります。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くなどでは、正常に操作できないことがあります。

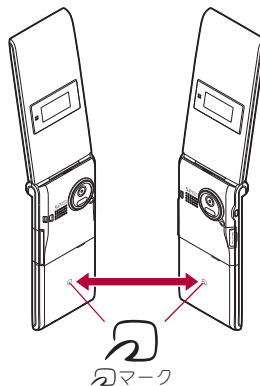
i C 通信

i C 通信機能を搭載した他の FOMA 端末などと、データを送受信することができます。

- i C 通信中は圏外と同じ状態になり、通話、i モード、データ通信などはできません。
- 通話中や i C カードロック中は i C 通信できません。

- 送受信できるデータや各種ロック中の動作については赤外線通信 (P.328) と同様です。
- i アプリから i C 通信を起動する方法については P.264

i C 通信機能をお使いになる時のご注意



- 図のように受信側と送信側の FOMA 端末のマークを重ね合わせてご利用ください。
- データの送受信が終わるまでは、FOMA 端末を動かさないでください。
- 相手の FOMA 端末によっては、データを送受信しにくいことがあります。そのときは、マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- i C 通信中は FOMA 端末の着信ランプが点滅します (P.99)。
- 充電中およびイヤホン接続中は i C 通信によるデータの送信できません。

データを1件ずつ送受信する

データを1件送信する<送信>

例: 電話帳のとき

- 1 待受画面でⓂ
- 2 名前を選ぶ▶Ⓜ▶[データ送信]▶[i C送信]▶[送信]▶[はい]
 - 内容表示画面では:Ⓜ▶[データ送信]▶[i C送信]▶[送信]▶[はい]
- 3 相手のFOMA端末と☎マークを重ね合わせる

データを1件受信する<受信>

- 1 待受画面で相手のFOMA端末と☎マークを重ね合わせる
- 2 [はい]

データを全件送受信する

- 全件データの送受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。認証パスワードは、i C通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな4桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。

データを全件送信する<全件送信>

例: 電話帳のとき

- 1 待受画面でⓂ▶Ⓜ▶[データ送信]▶[i C送信]▶[全件送信]

- 2 端末暗証番号を入力▶Ⓜ
- 3 認証パスワードを入力▶Ⓜ▶[はい]
- 4 相手のFOMA端末と☎マークを重ね合わせる

データを全件受信する<全件受信>

- 1 待受画面で相手のFOMA端末と☎マークを重ね合わせる
- 2 [はい]
- 3 端末暗証番号を入力▶Ⓜ
- 4 認証パスワードを入力▶Ⓜ▶[はい]
 - 受信の中止:受信中にⓂ

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーとして使う

FOMA端末をボイスレコーダーとして利用できます(microSDカードが必要です)。

- 録音した音声は、[音声のみ](映像なし)のi モーションとして、microSDカードの[マルチメディア]フォルダに最大400件保存できます(録音時間により保存件数は変わります)。1件あたり最長約6時間録音できます。
- 400件を超えて録音しようとする、録音に失敗した旨のメッセージが表示され、ボイスレコーダーが終了します。
- 録音した音声を64MバイトのmicroSDカードに保存するときは、最長約10時間保存できます。
- 録音距離は、約1.5m以内をおすすめします。
- 録音した音声は、i モーションプレイヤー(※P.305)で再生できます。

録音する

- 録音開始音が鳴り、録音が始まります。録音中はピクチャーライトが点滅します。

1 カスタムメニューで[Media tool] ▶ [ボイスレコーダー] ▶ ◎

- 一時停止/再開: ◎



ボイスレコーダー画面

2 録音を止めるときは、◎

- 次の場合は、自動的に録音が停止します。
 - 残時間表示が00:00:00になったとき
 - 録音時間が約6時間に達したとき
 - microSDカードの空き容量がなくなったとき

3 [保存]

- 録音した音声を保存します。
- 録音した音声の再生:[再生]
- 録音した音声を取り消す:[取消] ▶ [はい]

- 録音したデータは、ファイル制限なしのファイルとして保存されます。

- 録音中にFOMA端末を閉じても録音は継続されます。
- 録音中に電話がかかってくると、録音が自動的に停止し、電話に出ることができます。通話終了後、保存確認画面が表示されます。

■ ボイスレコーダー画面のサブメニュー操作

[データBOX表示]

[ノイズキャンセラ] ▶ [ON]

- 音声のノイズを少なくします。

[セルフタイマー] ▶ セルフタイマー時間を選ぶ ▶ ◎

[レコーダー設定保持] ▶ [ON]

マンガ・ブックリーダー

電子書籍／電子辞書／電子コミックを 表示する

電子書籍／電子辞書／電子コミックを、FOMA端末で表示できます。

- お買い上げ時は、FOMA端末(本体)に次の電子コミック、電子辞書などが登録されています。

■ サポートブック

■ NARUTOーナルトー001(電子コミック)

■ 明鏡モバイル国語辞典(電子辞書)

使用頻度の高い現代語を中心に約4万7100語句収録。ことわざ成句も解説。

■ ジーニアスマバイル英和辞典(電子辞書)

英会話や新聞・小説を読むときに便利なモバイル英和。約4万5700語句収録。

■ ジーニアスマバイル和英辞典(電子辞書)

現代語を中心に約5万5800語句を収録した、本格語数のモバイル和英。

(「NARUTOーナルトー」 ◎岸本斉史 スコット/集英社、「明鏡モバイル国語辞典」「ジーニアスマバイル英和辞典」「ジーニアスマバイル和英辞典」 ◎2005-2008 Taishukan)

- 電子書籍、電子コミックなどは、サイトなどからダウンロードできます(※P.164)。

- 「NARUTOーナルトー001」の続きはケータイコミックサイト「集英社マンガカプセル」でご購入いただけます。

- お買い上げ時に登録されている電子辞書を削除した場合は、付属のCD-ROM([取扱説明書]内の[内蔵辞書(マンガ・ブックリーダー用)])から登録できます。

1 カスタムメニューで[Media tool] ▶ [マンガ・ブックリーダー]

2 データを選ぶ ▶ ◎

- パスワードが必要なとき:パスワードを入力 ▶ ◎



内容表示画面

- 表示できる電子書籍などの種類(拡張子)は次のとおりです。

	形式	拡張子
電子書籍	XMDF	[.zbf]
	テキスト	[.zbk][.txt][.text]
電子辞書、電子コミック	XMDF	[.zbf]

- 前回の閲覧時に [Ⓜ] を押して終了したデータを選んだときは、終了時に表示されていたページが表示されます。
- 前回の閲覧時に [Ⓜ] を押して終了したときは、マンガ・ブックリーダーを起動すると自動的に終了時のページが表示されます。ただし、文字読み取りから起動したときや、クイック検索からサポートブックを表示したときは表示されません。
- データに埋め込まれている音声や画像によっては、ご利用になれないことがあります。
- 電子書籍などには、閲覧回数/閲覧期限/閲覧期間の閲覧制限が設定されているものがあります。これらのデータを表示しようとすると、確認メッセージが表示されます。内容を確認してください。
- microSDカードにも保存できます。microSDカードに保存した電子書籍などは、一覧画面に最大400件表示できます。[マンガ]フォルダ内のファイルは最大999件表示できます。

■ 内容表示画面のボタン操作

行を移動	進める	⊖/⊕	コマ/ページ切替 (電子コミック表示中)	②
	戻す	⊕/⊖		

画面スクロール(電子コミックのページ表示中)		⊕	拡大(電子コミックのページ表示中)	③
コマ移動(電子コミックのコマ表示中)	進める	⊖/⊕	前ページの表示	Ⓜ
	戻す	⊕/⊖	次ページの表示	Ⓜ
縮小(電子コミックのページ表示中)		①	ページを戻る(履歴があるとき)*	Ⓜ

※ 履歴がないときは先頭のページが表示されます。

■ 内容表示画面のサブメニュー操作

[文字列コピー] ▶ 最初の文字を選ぶ ▶ ◎ ▶ 最後の文字を選ぶ ▶ ◎

[しおり設定]

▶ [しおりをさはさむ] ▶ しおりを選ぶ ▶ ◎

▶ [しおりへ移動] ▶ しおりを選ぶ ▶ ◎

[情報表示]

📄 P.327

[現在位置確認]

[移動]

▶ [目次] ▶ 項目を選ぶ ▶ ◎

- 目次からページを表示します。

▶ [先頭へ]

▶ [最後へ]

▶ [リストへ]

- ファイル一覧画面に戻ります。

▶ [%指定移動] ▶ %を入力 ▶ ◎

- 全体に対する位置を%で指定してページを移動します。

[文字読み取り]

📄 P.338

[表示設定]

▶ [文字サイズ設定] ▶ 文字サイズを選ぶ ▶ ◎

▶ [縦横設定] ▶ 設定を選ぶ ▶ ◎

- 縦書き、横書きを切り替えます。

▶ [ルビ表示] ▶ [ON]

- ふりがなを表示します。

- ▶ [画像サイズ] ▶ 設定を選ぶ ▶ ◎
 - 画像を表示するサイズを切り替えます。

[マンガ表示設定]

- ▶ [縮小]
- ▶ [コマ/ページ切替]
 - コマ表示とページ表示を切り替えます。
- ▶ [拡大]

[音量設定] ▶ 音量を選ぶ ▶ ◎

[バイブレーション設定] ▶ [ON]

[バックライト点灯時間] ▶ 設定を選ぶ ▶ ◎

文字列コピーについて

- 一度にコピーできる文字数は、最大全角20文字(半角20文字)です。
- コピーできない文字もあります。
- 電子コミックによっては、文字列コピーができないものがあります。

しおりについて

- 電子コミックのページ表示画面では、[しおりへ移動]は選択できません。
- 1冊につき最大2個(最大10冊)のしおりを設定できます。
- 11冊目のしおりを設定するか自動しおりが設定されると、一番古いしおりまたは自動しおりが削除されます。
- マンガ・ブックリーダーを終了すると、最後に表示していたページに[自動しおり1]が設定されます。次に同じ電子書籍などを表示し、終了した場合は、最後に表示していたページが[自動しおり1]に設定され、前回の[自動しおり1]は[自動しおり2]に設定されます。自動しおりは、1冊につき最大2個(最大10冊)まで設定され、古いものから自動的に消去されます。
- パスワードが設定されているデータは、自動しおりが表示できません。

移動について

- 電子コミックのページ表示画面では、[移動]は選択できません。

文字サイズ設定、縦横設定、ルビ表示について

- データによっては、表示を切り替えることができないものや、表示の設定が指定されているものがあります。
- 電子コミックの吹き出しの中の文字は画像です。文字サイズ設定や縦横設定、ルビ表示は反映されません。
- データによってルビの有無は異なります。

縮小、コマ/ページ切替、拡大について

- 電子コミックのコマ表示画面では、縮小、拡大はできません。
- 電子コミックによっては、コマ表示/ページ表示を切り替えてできないものがあります。

■ microSDカード内の表示フォルダを切り替える

<表示フォルダ切替>

1 カスタムメニューで[Media tool] ▶ [マンガ・ブックリーダー] ▶ ◎ ▶ [表示フォルダ切替]

2 フォルダを選ぶ ▶ ◎

- 携帯情報端末など、FOMA端末以外でXMD形式の電子書籍を利用していたときに、その電子書籍の入ったフォルダを表示できます。
- 利用されていた携帯情報端末によっては、フォルダを表示できないことがあります。
- SH-01Aよりあとに発売された機種をご利用のお客様で、microSDカードの¥PRIVATE¥DOCOMO¥BOOKフォルダに電子書籍などを保存しているときは、[マンガ・ブックリーダー2]を選択すると表示できます。

電子辞書で調べる

電子辞書で、用語を入力して調べることができます。

- 電子辞書は次のシャープオリジナルサイト「Sharp Space Town」でご購入いただけます。
<http://www.spacetown.ne.jp/>
 - ・ パソコンからサイトに接続して、ご購入した電子辞書はmicroSDカードに格納してFOMA端末で使用できます(¥P.315)。

- 1 カスタムメニューで[Media tool] ▶ [マンガ・ブックリーダー]
- 2 電子辞書を選ぶ ▶ ●
- 3 入力欄を選ぶ ▶ ●
- 4 用語を入力 ▶ ●
 - 255文字まで入力できます。
- 5 用語を選ぶ ▶ ●
- カメラで文字を読み取って検索する <文字読み取り>
- 1 内容表示画面で入力欄を選ぶ ▶ ● ▶ [文字読み取り]
 - 文字の読み取り方法についてはP.203

電子書籍／電子辞書／電子コミック内の情報を利用する

Phone To (AV Phone To)、Mail To、Web To機能を利用する

電子書籍などで反転表示された文字情報(電話番号、メールアドレス、URLなど)やPhone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能が埋め込まれた画像を利用して、電話発信やメール送信、サイト接続ができます。

- 1 内容表示画面で電話番号やメールアドレス、URLなどを選ぶ ▶ ●
 - 画像のとき:画像を選ぶ ▶ ● ▶ [リンクへ移動]
- 2 [はい]
 - URLの場合、接続方法を選択するとサイト接続します。
 - 電話発信やメール送信、サイト接続の操作についてはP.165

リンク先のページを表示する

文字列や画像に別のページのリンク情報が設定されているときは、そのページを表示できます。

- 1 内容表示画面で文字列や画像を選ぶ ▶ ●

動画／音声を再生する

画像に動画／音声の情報が設定されているときは、動画／音声を再生できます。

- 1 内容表示画面で画像を選ぶ ▶ ● ▶ [動画／音声の再生]

マスク(目隠し)された文字列や画像を表示する

- 1 内容表示画面で文字列や画像を選ぶ
 - ◆ 文字列を選ぶ ▶ ●
 - ◆ 画像を選ぶ ▶ ● ▶ [マスクの切替]

電子書籍／電子辞書／電子コミック内の画像を保存する

電子書籍などに表示された静止画を、マイピクチャ内の[カメラ]フォルダに保存できます。

- 画像保存件数は、最大1500件です。メモリの使用状況によっては、少なくなります。
- 1 内容表示画面で静止画を選ぶ ▶ ● ▶ [マイピクチャ登録]
 - PNG形式など、保存できない画像もあります。
 - すべて著作権のある画像として保存されます。microSDカードへの保存や、メールへの添付はできません。